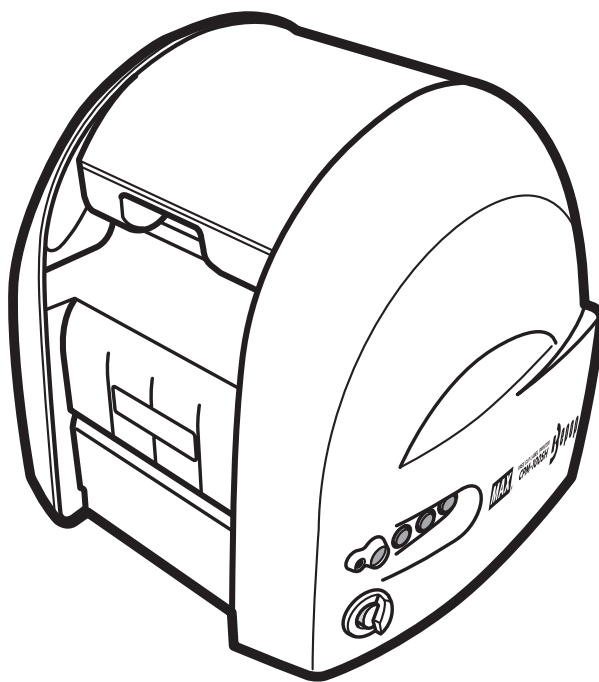


CPM-100SH4 CPM-100H6 PM-100W2

取扱説明書・保証書

Bepop®



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本書は、必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 最新情報は弊社ホームページをご参照ください。

MEMO 

編集ソフト「BepopPC EX」の取扱説明、詳細につきましては、ソフトと同時にインストールされる「BepopPC EX 操作マニュアル」をご参照ください。



目次

必ずお読みください

はじめに	2
本書の表記について	2
ご使用上の注意	2
免責事項	3
お客様登録のお願い	4

お使いになる前に

同梱品	5
各部の名称	5
キーの主な機能	5

本体の準備

シートをセットする	6
インクリボンカセットをセットする	7
カッティングツール(刃)をセットする	8
カット圧を調整する	10
オフセット値を設定する	11
電源ケーブルをつないで電源を入れる	12
PCと本体をつなぐ	13
シートガイドを取り付ける	14

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください	15
「BepopPC EX」とプリンタドライバのインストール	16
本体のIPアドレス設定	21

まず使ってみましょう

ラベルレイアウトを作成する	23
1 BepopPC EXを起動させる	23
2 シンボル(ピクトサイン)を入れる	24
3 文字を入力する	24
4 表枠を挿入する	25
5 塗りつぶしをする	25
6 カット枠を挿入する	25
7 シートの種類を選択し、印刷する	26
シートの残量を確認する	27
印字濃度を調整する	28
ラミネートフィルムを使う	29
ラミネートリボンを使う	32
切り文字を作成する	34
カットした文字を貼り付ける	35

アンインストールの方法

「BepopPC EX」のアンインストール	38
プリンタドライバのアンインストール	39

こんなときは	40
--------	----

お手入れのしかた	44
----------	----

商品仕様	45
------	----

必ずお読みください

はじめに



この度は、ビーポップCPM-100SH4、CPM-100H6、PM-100W2をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本機種は、看板・案内表示といった表示物や、カラフルで耐久性の高い高画質ラベルを、どなたでも簡単に作れるラベル作成機です。

なお、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。




本書の表記について

■表示について

この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。
表示の意味は次の通りです。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性及び物的損害のみが発生、また、作成したデータが消失する可能性が想定される内容を示しています。

■絵表示について

 「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 注意内容 です。	 「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 禁止内容 です。	 「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は、具体的な 指示内容 です。
---	---	---

■お願い

本機が故障し、修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書かれています。

MEMO  操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書かれています。

 **ページ** 説明のページが異なる場合に参照するところが書かれています。

ご使用上の注意

■CPM-100SH4、CPM-100H6、PM-100W2の3機種について

この装置は、クラスA情報技術装置です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

RFIDに関する記載

本製品は電波法に基づく型式指定を取得した高周波利用設備を内蔵しています。
改造して不法電波を放射したりすると、**電波法違反となり処罰されます。**

警告

- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない
故障や、火災、感電、けがの原因になります。
- シート出口部には、絶対に手や物を差し入れない
機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。
- 付属の電源コードは本機以外に使用しない
付属の電源コード以外は使用しない
火災や感電のおそれがあります。
- 電源は直接コンセントからとり、タコ足配線はしない
火災の原因になります。
- 電源コードを加工しない
火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードの上に重いものを絶対にのせない
コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。
- 電源コードは、束ねたまま使用しない
発熱により、火災や故障の原因になります。
必ずほどいてご使用ください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電のおそれがあります。
- 水に濡れた手、衣服のまま本機の操作をしない
感電のおそれがあります。
- コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない
火災や故障の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く
コードが破損して火災や感電の原因になります。
- 水、薬品などが本機にかからないようにする
万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると故障や、火災、感電の原因になります。
- 故障のまま本機を使わない
煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。
すぐに電源コードをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機は絶対に分解または改造しない
火災、感電、故障の原因になります。
- 電源は定格内のコンセントを使用する
定格外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。
- 必ずアース接続を行う
万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差す前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 電源プラグは定期的に清掃する
長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- カッティングツール（刃）は、お子様の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意

- 本機は必ず水平に設置する。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない
倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- 落としたりぶつかけたり強いショックを与えない
けが、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態での使用は避ける
動作が不安定になることや、本機故障の原因になります。
- 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しない
電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。
- USB、LANコネクタには直接手で触れない
静電気により故障の原因となることがあります。
- プリントヘッドには絶対にさわらない
印刷直後のプリントヘッドは高温になっており、やけどをするおそれがあります。また、手の汚れがプリントヘッドの故障の原因になることがあります。
- パソコンに保存した内容は、永久的な保存はできません
故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 長期間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜く
- 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う
電源プラグをコンセントに差したまま移動させるとプラグやコードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除く
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- ドアカバーの開閉時には、手等をはさまないように注意する
- 本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体の底面を持って運ぶ
けが、故障の原因となります。
- カッティングツール（刃）の交換時には、必ず電源を切る
機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
- カッティングツール（刃）の刃先は非常に鋭利なため充分注意する
けがをするおそれがあります。さわらぬようご注意ください。
- 消耗品（シート、インクリボン、替刃）は専用のものを使用する
正常に印刷しなかったり故障の原因となります。

免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、およびこれにより生じた2次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

お客様登録のお願い

本製品をご使用の前に必ずお客様登録を行ってください。

同梱されている別紙「お客様登録のお願い」を参照の上、登録作業をお願いします。

登録後に開設されるマイページにて認証番号が発行されますので、編集ソフト「BepopPC EX」起動時に表示される「お客様登録のお願い」画面に4～6桁の【認証番号】の入力をお願いします。

認証番号を入力されない場合、ソフト起動時に「お客様登録のお願い」画面が表示されてしまいますので、画面を保存、または印刷のうえ、ソフト起動時に必ず認証番号の入力をお願いします。

お客様登録を行うことで

- ・ご購入から1ヵ月以内の登録で、修理代替機の割引サービス
- ・Bepopの他活用事例や新製品などのお役立ち情報の提供
- ・BepopPC EXの最新版のダウンロード

を受けることができます。

最新のサービス内容に関しては、弊社ホームページをご確認ください。

■お客様登録から認証完了までの手順

①お客様登録サイトの手順に沿って登録を行う

本体同梱の別紙「お客様登録のお願い」または、編集ソフト「BepopPC EX」起動時に表示される「お客様登録のお願い」画面で記載されている二次元コードをスマートフォン等で読み取って、お客様登録ログインページから画面に沿って新規登録を行ってください。登録が完了すると認証番号が発行されます。

※二次元コードから登録を行うと品番、製造番号の入力の必要がなく便利です。

②編集ソフト「BepopPC EX」の「お客様登録のお願い」画面で「製造番号」と「認証番号」を入力する

製造番号の欄には登録するプリンタ本体の製造番号を、認証番号の欄には手順①で発行された認証番号をそれぞれ入力し「確定」ボタンを押して認証を完了してください。認証番号を忘れてしまった場合は、登録完了のメール内、またはマイページの「登録商品の参照」で認証番号を確認することができます。

※認証番号は機械、登録者属性毎に異なります。機械使用者毎の登録をお願いします。

お客様登録のお願い (詳しい内容に関してはBepopPC EX操作マニュアルをご確認ください)

お客様登録をいただく、様々なサービスが受けられます。

- ・ご購入後1ヵ月以内の登録で、修理代替機の割引サービス
- ・Bepopの活用事例や新製品などのお役立ち情報提供
- ・「BepopPC EX」最新版のダウンロード

詳しくはホームページをご確認ください。

お客様登録にはお使いのプリンタの「製造番号」が必要です。
製造番号を入力してください。

品番

製造番号 (半角入力)

自動取得が可能な機種ではPCとプリンタを接続し電源をONすると「製造番号」を自動で上記に表示します。情報を更新する場合は「再取得」を押してください。自動取得可能な機種については「BepopPC EX操作マニュアル」をご確認ください。

表示された製造番号を確認のうえ、「お客様登録のお願い」用紙、またはスマートフォンで下のQRコードを読み取り登録をお願いします。QRコードから登録を行うと品番、製造番号の入力の必要がなく便利です。

製造番号が正しく入力されていないため、QRコードを表示できません

※ディスプレイの解像度によって正常に読み取れない場合は下記URLから登録してください。
URL) <https://wis.max-ltd.co.jp/register/>

お客様登録完了後に表示される認証番号を入力してください。

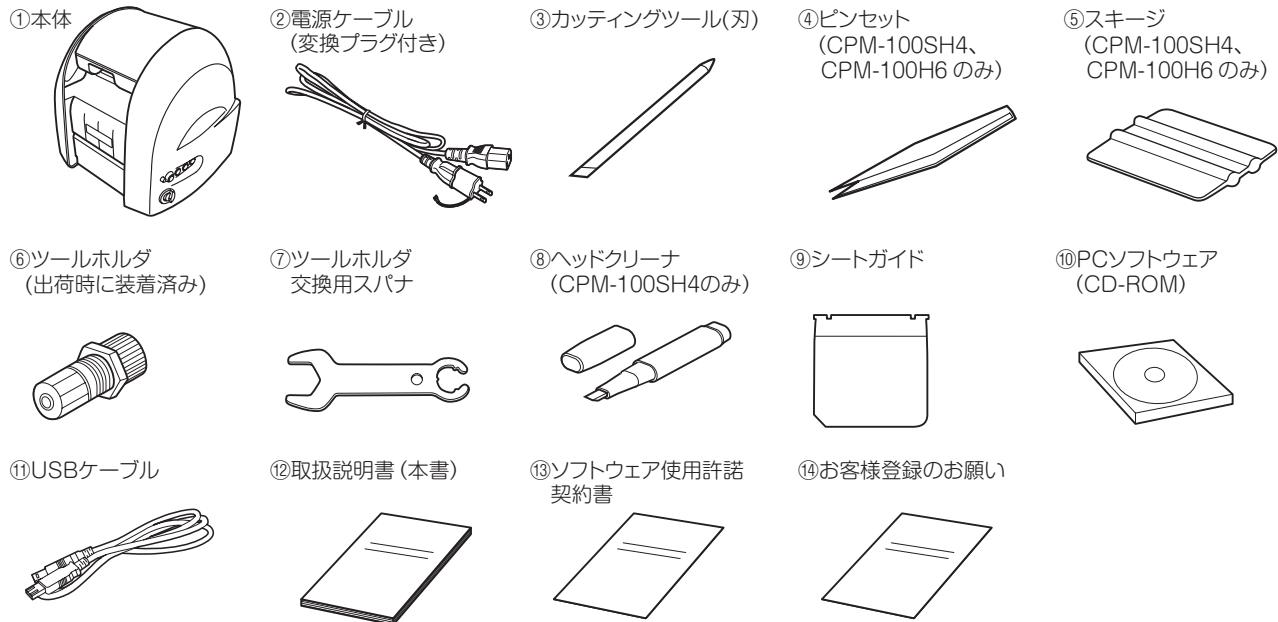
認証番号 (半角入力) 表示

上記入力が完了し「確定」を押すと次回以降はこの画面は表示されません。

お使いになる前に

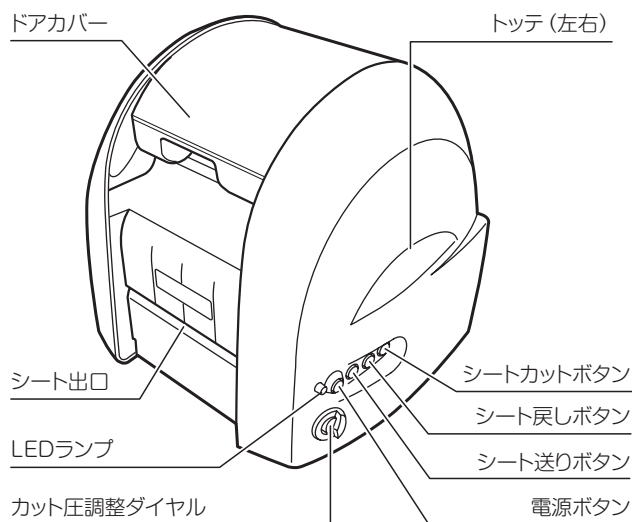
同梱品

箱を開けて、下記のものがすべて揃っていることを確認してください。

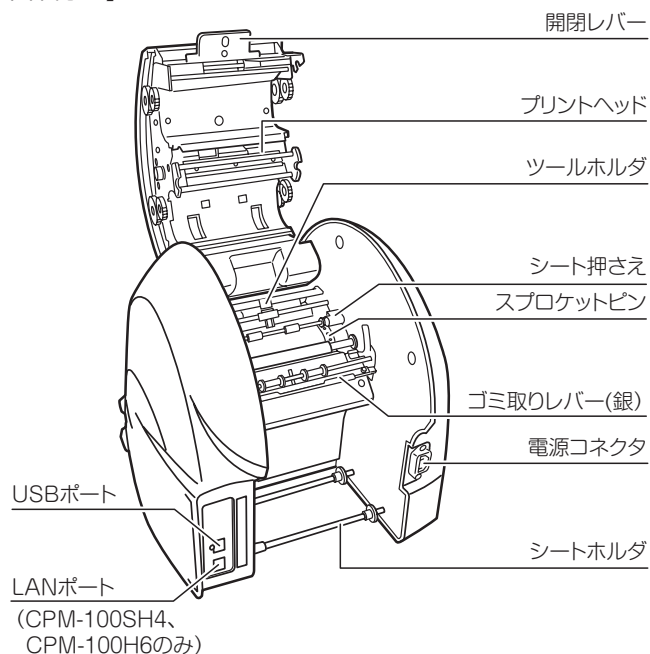


各部の名称

【本体前面】



【本体背面】



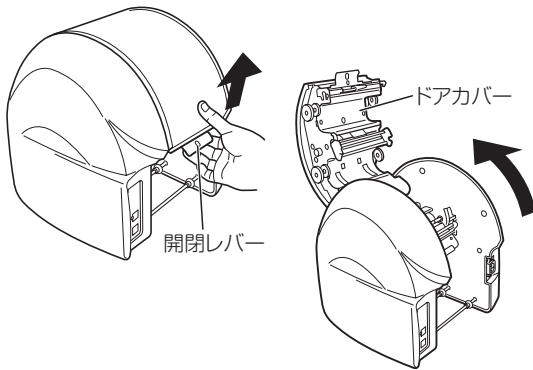
キーの主な機能

- 電源ボタン : 電源のON/OFFをするボタンです。
- LEDランプ : 電源がONの時、緑色で点灯します。
エラー状態の時、赤色で点灯または点滅します。
(エラーの詳細についてはPC画面に表示されるステータスマニタの内容をご確認ください)
- シート送りボタン : 押し続けている間、シートを送ります。
- シート戻しボタン : 押し続けている間、シートを戻します。
- シートカットボタン : シートをフルカットします。

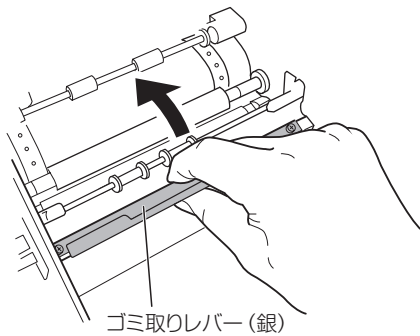
本体の準備

シートをセットする

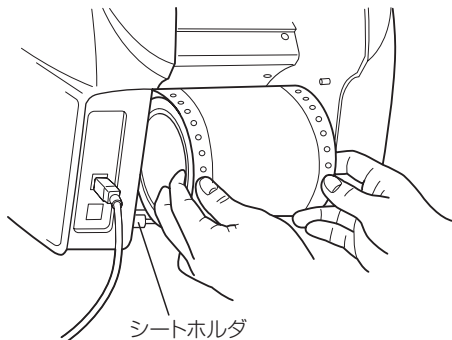
1 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



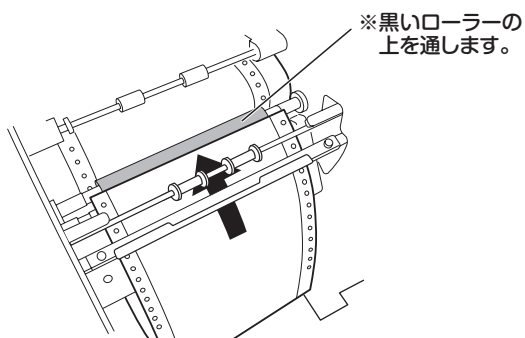
2 ゴミ取りレバー（銀）を持ち上げます。



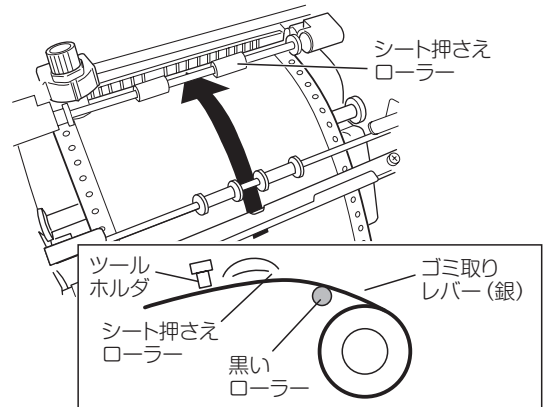
3 シートホルダにシートをのせます。



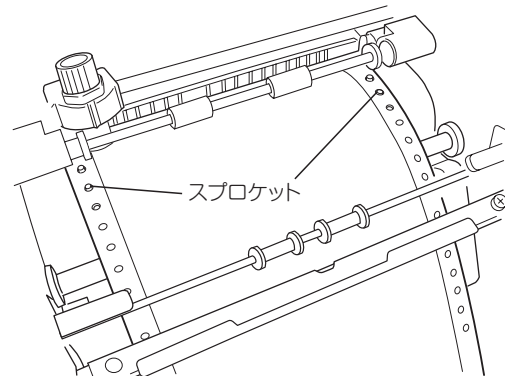
4 シートをゴミ取りレバー（銀）の下に通します。



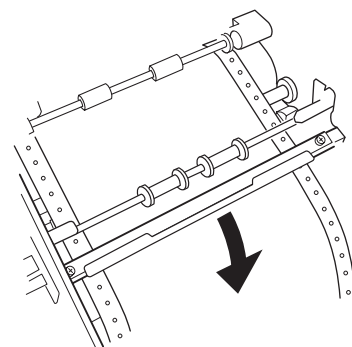
5 シートを前方に送り、2本のシート押さえローラーの下を通します。さらに、シートの先端がツールホルダの下を通過するまでシートを送ります。



6 左右のスプロケットのピンとシートの穴を合わせます。スプロケットのピンが穴に刺さっていなかったり、左右ですれていたりするとシートが正しく送られません。



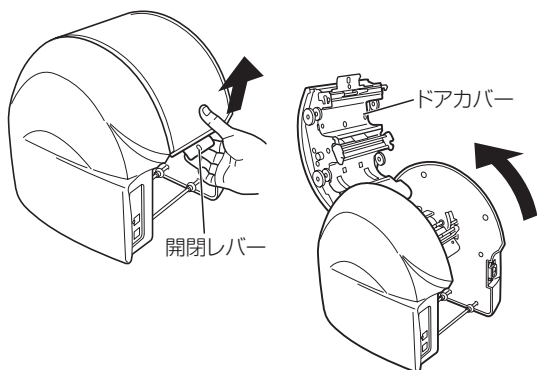
7 ゴミ取りレバー（銀）を下げてシートをおさえます。



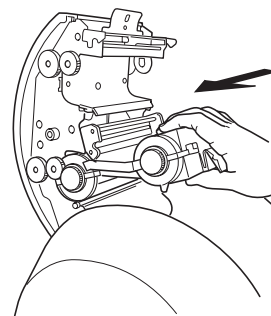
8 「カッチン」とロックがかかるまでドアカバーを閉めます。

インクリボンカセットをセットする

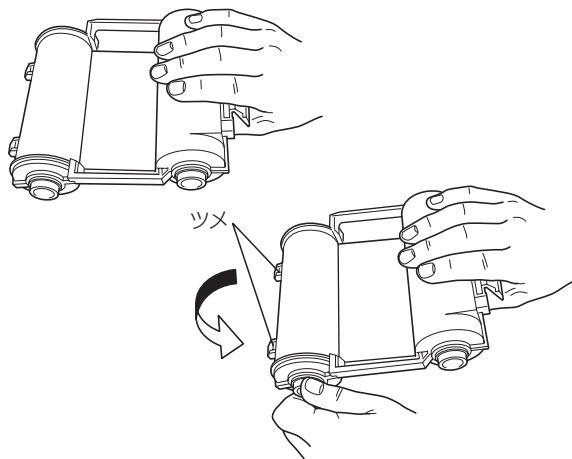
1 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



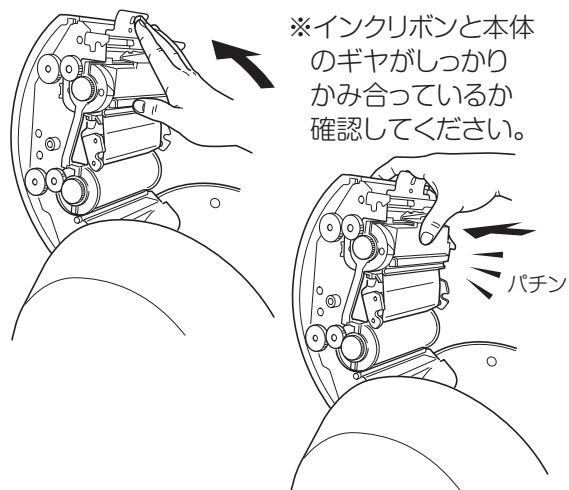
3 インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に合わせ、差し込みます。



2 インクリボンカセットのラベル面が上面になるように持ち、リボンギヤを図のように矢印方向へまわしインクリボンのたるみを取ります。

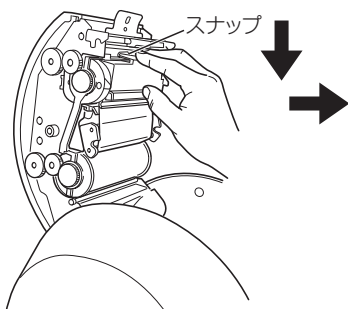


4 ツメを支点として上方に回し入れます。スナップでインクリボンが固定され、『パチン』と音がするまでしっかりと押し込みます。

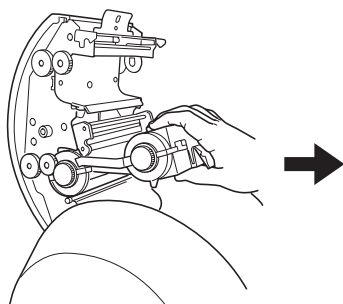


本体からインクリボンカセットを取り外す

1 ドアカバーを開け、インクリボンカセットのスナップを押しながら、手前に引き出します。



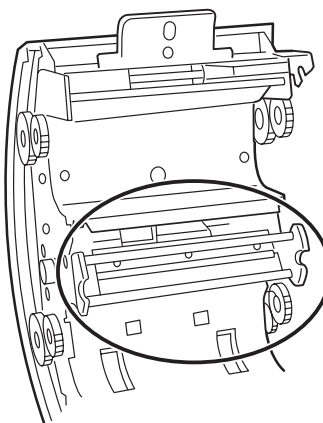
2 カセットを下方に回した後、引き抜きます。



⚠ 注意

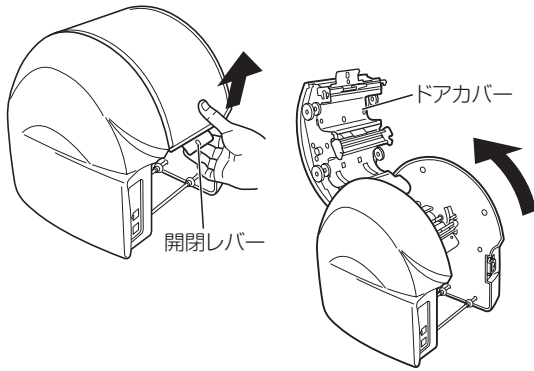


プリントヘッドには手を触れない
やけど、故障をするおそれがあります。

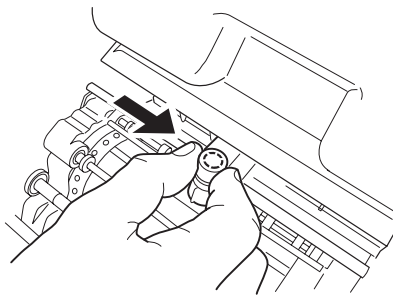


カッティングツール(刃)をセットする

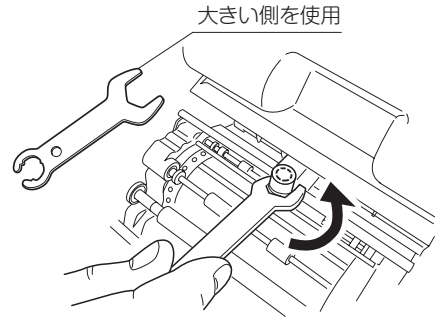
1 電源がOFFになっていることを確認し、開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。



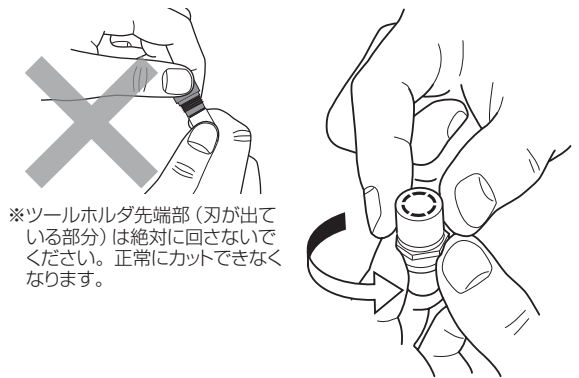
2 ツールホルダが付いたカッティングヘッドを中央に手で移動させます。



3 付属のスパナを使用してツールホルダを反時計方向に回し取り外します。(スパナは大きい側を使います。)



4 取り外したツールホルダのキャップ(上部)を反時計方向に回し取り外します。



警告

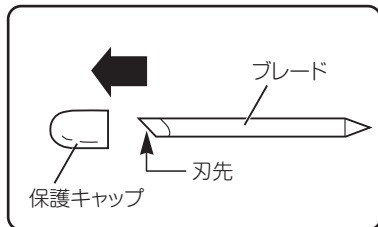
❗ カッティングツール(替え刃)は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

注意

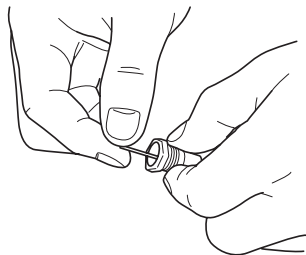
❗ カッティングツール(替え刃)の装着脱時は、必ず電源をOFFにする。機会が不意に動作したときに、けがの原因になります。

🚫 カッティングツール(替え刃)先端部は、けがをするおそれがありますので触らないでください。

5 カuttingツール (刃) を用意し、保護キャップをはずします。

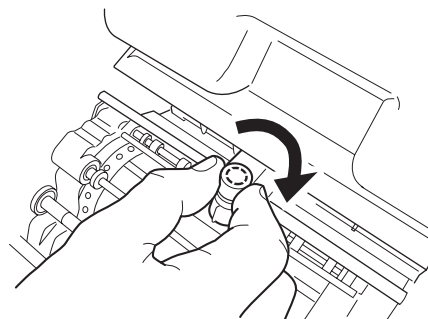


6 刃先 (保護キャップがついていた側) を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは古いCuttingツール (刃) を先に抜き取ります。



7 ホルダキャップをしめます。
キャップをしっかりしめると刃先が適切な出量になります。

8 ツールホルダをCuttingヘッドに手でしめ込みます。



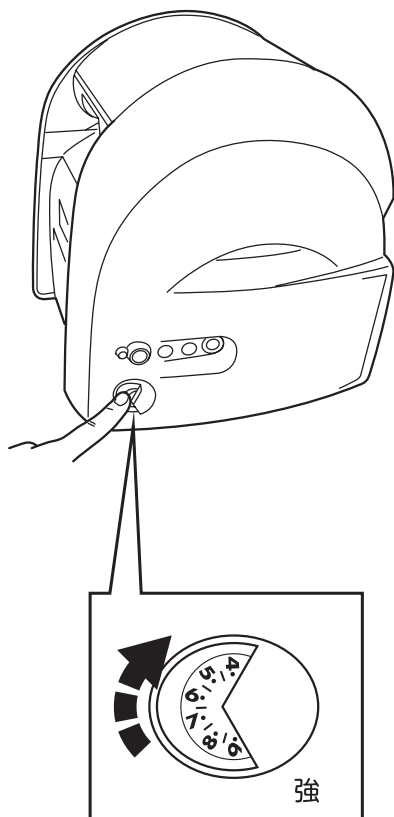
お願い

- ☆Cuttingツールを差し込むときは、押し込まないように注意してください。押し込んで装着すると刃先が出過ぎてしまい、シートを傷つけたりCutting不良を引き起こしたりします。また、Cuttingツールの寿命を早めます。
- ☆ツールホルダをしめ込むときはスパナを使用しないでください。強く締め込みすぎると破損するおそれがあります。付属のスパナは本機専用ですので他の用途に使用しないでください。破損や変形のおそれがあります。他用途に使用した場合の不具合には責任を負いません。

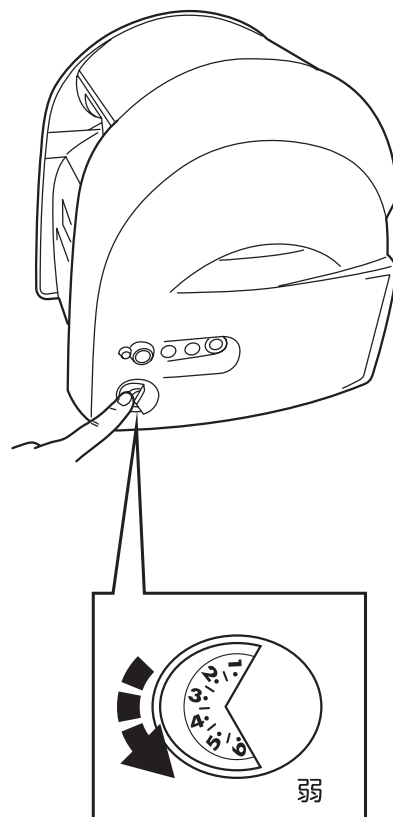
カット圧を調整する

刃先の圧力(カット圧)を変えることで切り込みの深さを調整します。
シートの種類、気温等により切れすぎたり、切れなかったりする場合がありますので、ご使用前に試し切りをおこない、カット圧を調整することをお勧めします。
シートの台紙に少し跡がつく程度が適正なカット圧です。

- シートが切れておらず、うまくはがれない場合は、カット圧が弱い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ大きな値にしてシートを切れるように調整してください。



- シートの台紙まで切ってしまう(剥離紙の裏まで切れている)場合は、カット圧が強い状態です。ダイヤルを半目盛りずつ小さな値にしてシートの台紙を切らないように調整してください。



MEMO

- ☆蛍光シートをカットする場合は、カット圧を通常シートより1目盛り程度大きくしてください。
- ☆GNシリーズシートを使用する際は、本体のカット圧調整ボリュームを適切な深さになるように調整してください。目安は「2.5～3.0」程度です。

⚠ 注意



使用前にカット圧を調整する。

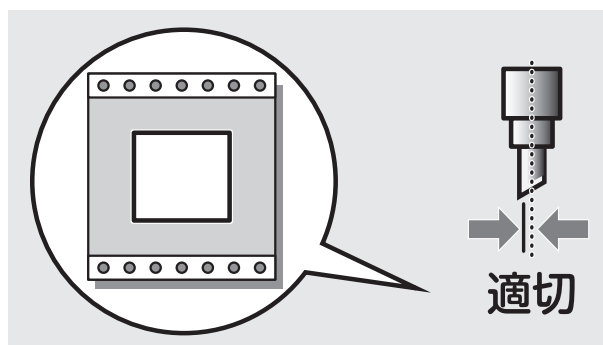
カット圧が強いまま使用し続けるとカッティングツール(刃)の寿命を早めます。
また、シートの台紙までカットしてしまい、故障の原因となります。

オフセット値を設定する

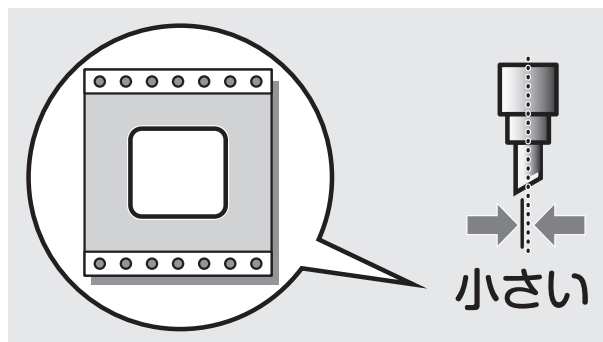
カドがキレイにカットできない場合、オフセット値を変更します。オフセット値は、0.150～0.600mmの範囲で0.025mmずつの設定が可能です。

- 1 BepopPC EX入力画面で、「ファイル」－「印刷」を選びます。
- 2 印刷ダイアログ画面で、[プロパティ] ボタンをクリックします。
- 3 「出力設定」タブをクリックします。
- 4 [詳細設定] ボタンをクリックします。
- 5 設定値を変更し、[OK] ボタンをクリックします。

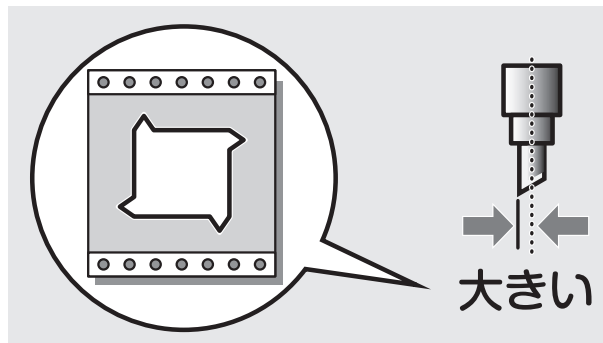
■適切なオフセット値を設定すると、右図のように
カッティングされます。



■オフセット値を小さくすると右図のように
カッティング文字の角の部分が丸みを帯びる
ようになります。



■オフセット値を大きくするとカッティング文字の角の
部分に飛び出しが出るようになります。

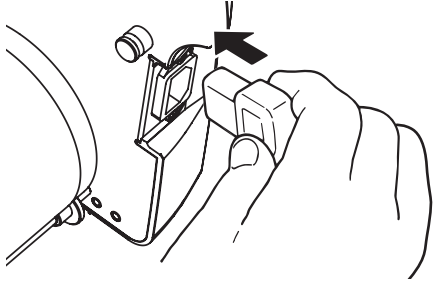


MEMO

☆設定したオフセット値を次回以降の出力にも活かしたい場合は、「コントロールパネル」－「デバイスとプリンターの表示」でプリンタを選択し、「プリンター」－「プリンターのプロパティ」－「詳細設定」タブの「標準の設定」を開いて設定してください。

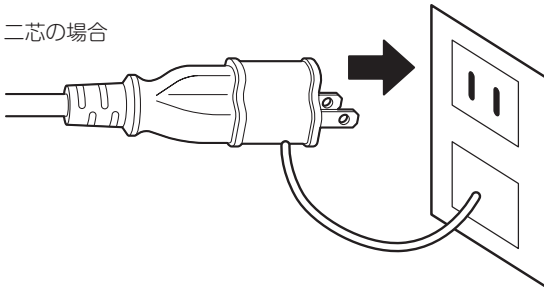
電源ケーブルをつないで電源を入れる

1 電源ケーブルを本体の電源コネクタに接続します。
(シート、インクリボンカセット、刃をあらかじめ
セットします。)

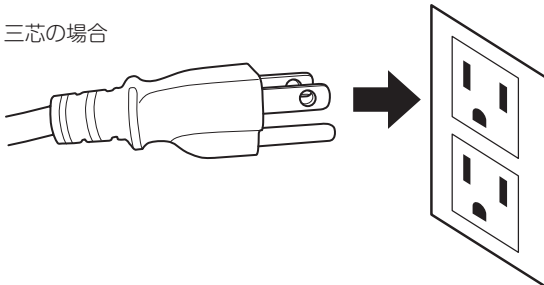


2 電源プラグをコンセントに差し込みます。


二芯の場合




三芯の場合

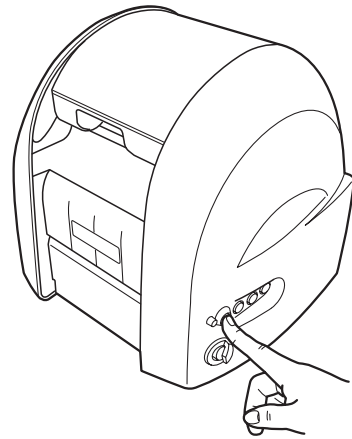


警告

 必ずアース接続を行なってください。
アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに
差す前に行ってください。アース接続を外す
場合は、必ず電源プラグをコンセントから
抜いて行ってください。

3 パソコンと本機をUSBケーブル、またはLANケー
ブルで接続します。
(「パソコンと本体をつなぐ」参照)  13ページ

4 本体の電源ボタンを押して、電源をONにします。
緑色のランプが点灯します。

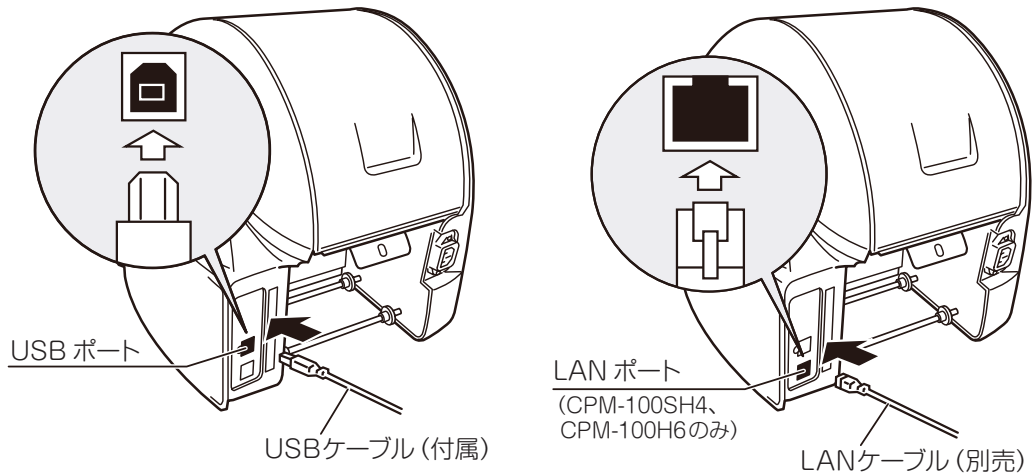


パソコンと本体をつなぐ

- 1 コンピュータ側にBepopPC EX (入カソフト) 及びプリンタドライバが、すでにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、「ソフトウェアのインストール」を参照してインストールを行なってください。



- 2 本機の側面側にあるコネクタにUSBケーブル (付属) またはLANケーブル (別売) を接続します。



- 3 各ケーブルのもう一方をパソコン側のコネクタに接続します。

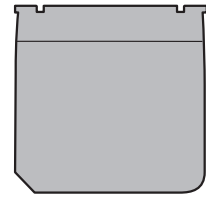
MEMO

- ☆ USB 接続で、USB ハブを使用すると正常に動作しない場合があります。その場合には USB ケーブルを直接コンピュータ本体の USB コネクタに接続しておためしてください。
- ☆ 本機1台に USB ケーブルと LAN ケーブル両方を接続して同時に使用することはできません。

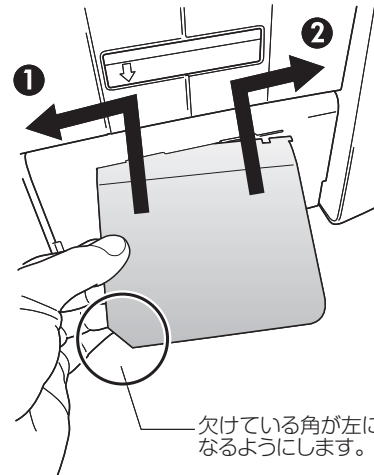
シートガイドを取り付ける

シートガイドはシートの送り戻しをスムーズに行うための補助ガイドです。
下記の手順に沿って取付けを行なってください。

シートガイド

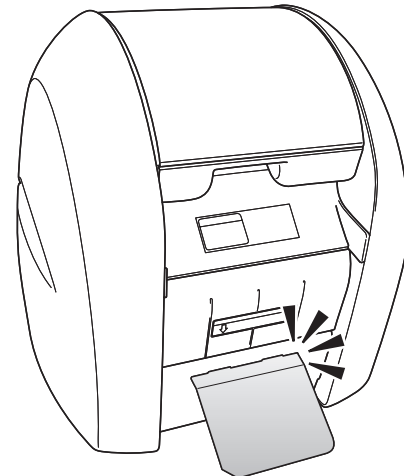
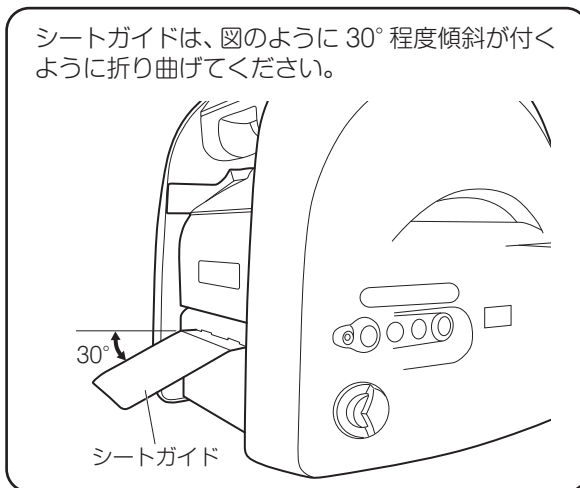


- 1** 本体排出口の下部の溝に、シートガイド突起部の片側を差し込みます。



- 2** 続いて反対側の突起部を溝に差し込みます。

シートガイドは、図のように 30° 程度傾斜が付くように折り曲げてください。



お願い

☆短いシート（シート長さ100mm以下）を複数部連続して印刷する場合は、シート排出部に印刷されたシートが溜まらないようにしてください。印刷物が溜まり、本体内部にシートが詰まるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

インストール前にお読みください

1. このソフトの著作権は、日本国マックス株式会社にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
4. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
5. このマニュアルで作成するサンプルに表示されている団体名、人名は架空のもので実存する団体・個人とは一切関係ありません。

Microsoft, Windows, は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

このソフトを使用できるパソコンについて

以下の条件に適合したパソコンをお使いください。下記以外のパソコンでの動作は保証しかねます。

動作条件	<ul style="list-style-type: none">●対応OS : Windows10 / 8.1 Windows Serverには対応していません。●クロックおよびメモリは、Microsoft社の各OS要件に準じたCPUおよびRAMを搭載し、100MB以上のハードディスク空き容量のある「Designed for Windows」のロゴが表示されているDOS/V機
------	--

インストールにあたっての注意点

本ソフト、及びプリンタドライバなどのインストールには、次の制約や注意事項があります。

注意事項・制約事項
<ul style="list-style-type: none">●インストールには「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログオンが必要です。●インストール後に再起動します。複数ユーザーでログオンしている場合は、他ユーザーがログオフしてから、管理者がインストールしてください。●ネットワーク（社内LAN/WANなど）に接続してお使いのパソコンにインストールする場合はネットワーク管理者へご相談ください。●必ず、添付のCD-ROMで起動するインストーラを使って、インストール、またはアンインストールしてください。

MEMO

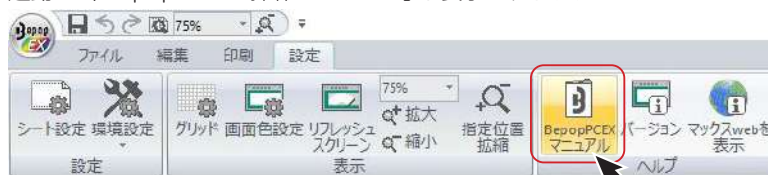
編集ソフト「BepopPC EX」の操作マニュアルについて

編集ソフト「BepopPC EX」の取扱説明、詳細につきましては、ソフトと同時にインストールされる「BepopPC EX操作マニュアル」をご参照ください。「BepopPC EX操作マニュアル」を参照するには、お使いのパソコンにPDFファイル閲覧ソフト（Adobe Reader）がインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLより入手し、インストールしてください。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

【BepopPC EX操作マニュアルの参照方法】

BepopPC EX起動後、設定タブの「BepopPC EX操作マニュアル」を選択してください。Adobe Readerが起動し、「BepopPC EX操作マニュアル」が表示されます。



「BepopPC EX」とプリンタドライバのインストール

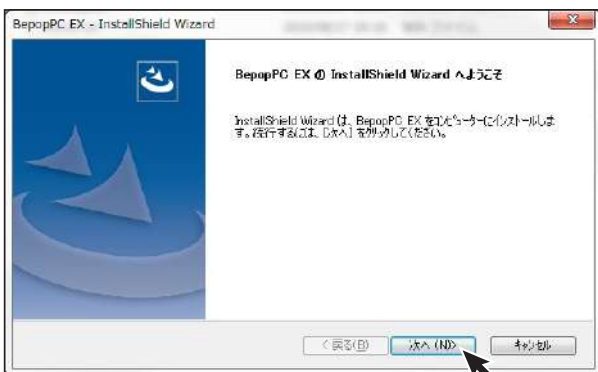
1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。

2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。ユーザーアカウント制御画面では「続行」をクリックしてください。

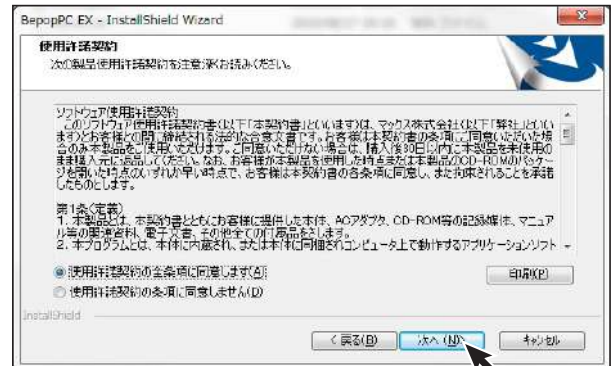
3 「BepopPC EX」のセットアップメニューが表示されます。
[BepopPC EXのセットアップ]をクリックします。



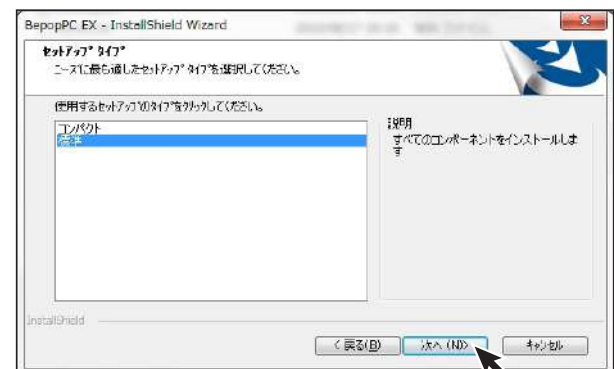
4 [次へ]をクリックします。



5 使用許諾をお読みいただき、ご同意いただいた上で [次へ]をクリックします。



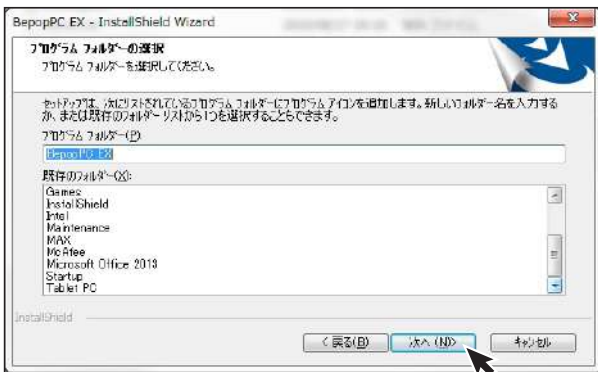
6 「標準」を選択して[次へ]をクリックします。
* 「標準」ではすべてのファイルをインストールします。
* 「コンパクト」を選択すると、マックスオリジナルフォントを除いてインストールします。



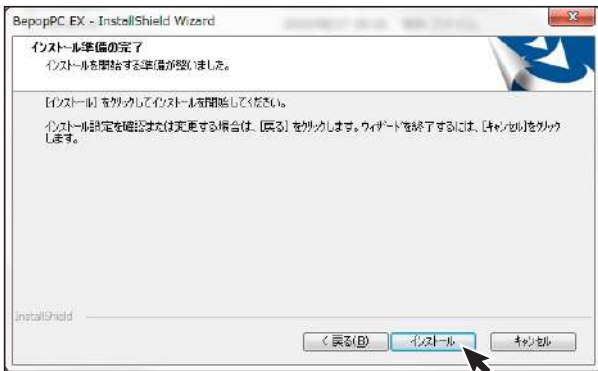
7 [次へ]をクリックします。
(必要に応じてインストール先のフォルダを選択します。)



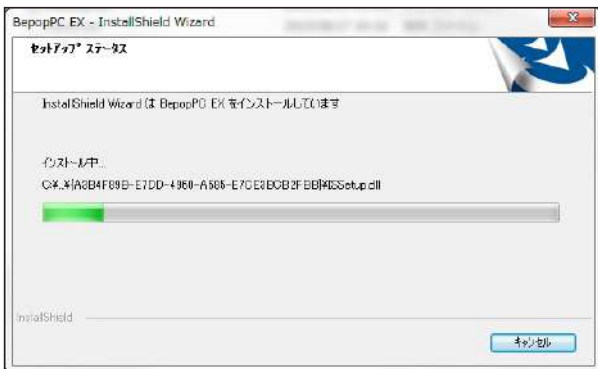
- 8 プログラムフォルダが「BepopPC EX」になっていることを確認し、[次へ]をクリックします。



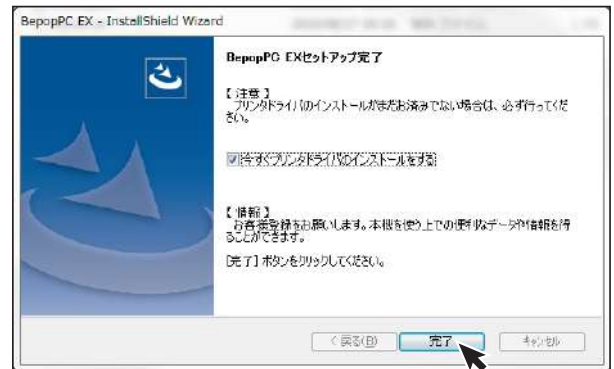
- 9 [インストール]をクリックします。



- 10 インストールを開始します。



- 11 「今すぐプリンタドライバのインストールをする」がチェックされていることを確認し、[完了]をクリックします。



- 12 「機種一覧」からインストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。

※USB接続でインストールする場合は、「次へ」をクリックする前にUSBケーブルでパソコンと本体を接続し、本体の電源を入れてください。



- 13 <USBケーブル接続で使用する場合><LANケーブル接続で使用する場合>いずれかにしたがってインストールを行ってください。

【以降の手順で表示されるメッセージについて】

※以降の手順を進める中で次のようなメッセージが表示されますが、本製品は、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので問題なくお使いいただけます。

メッセージが表示されましたら[インストール]または[このドライバソフトウェアをインストールします]または[続行]をクリックします。

※以下の手順説明ではこのメッセージは省略して説明しています。

※お使いの機種や使用環境によりメッセージの表示内容、表示順が異なる場合があります。

■Windows 10/8.1で表示されるメッセージ



※上記確認画面にて[インストール]または[このドライバソフトウェアをインストールします]または[続行]をクリックするまでの時間が長かったり、USB接続の場合、本体を接続して電源を入れるまでの時間が長かったりした場合、インストールに失敗することがあります。この場合は、一度アンインストールしてから、再度インストールを行ってください。

〈 USBケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 USBケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。
※USBケーブルは接続したままの状態です。



- 2 [インストール] をクリックします。



- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。
※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了] をクリックします。
※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は [いいえ] をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 5 再起動します。
※再起動しないと [BepopPC EX] 及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

〈 LANケーブル接続で使用する場合 〉

- 1 LANケーブルにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 2 [インストール] をクリックします。



- 3 自動でドライバおよびポートモニタのインストールが始まります。

※ (応答なし) と表示されることがありますが、そのままお待ちください。



- 4 パソコン側のポート名とIPアドレスを設定します。ポート名とIPアドレスを入力し、[OK] をクリックします。

※使用するIPアドレスについてはネットワーク管理者の方にお問い合わせください。

※ここで入力するIPアドレスは、ご使用になるパソコンのIPアドレスの上位9桁 (3桁区分3個目まで) とあわせる必要があります。最後の3桁は他の接続機器と競合しない空き番号を割り当てます。

※複数の本体を使用する場合は、異なるポート名と、IPアドレスを設定します。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了] をクリックします。

※インストール開始時に終了していないアプリケーションソフトがある場合は [いいえ] をクリックし、アプリケーションを終了させた後パソコンを再起動してください。



- 6 再起動します。

※再起動しないと「BepopPC EX」及び本体が正常に動作しません。必ず再起動を行なってください。

- 7 プリンタ本体のIPアドレスの設定が必要です。「本体のIPアドレス設定」にしたがって設定してください。

本体のIPアドレス設定

CPM-100SH4、CPM-100H6はLAN接続が可能です。
LANでお使いになる場合はIPアドレスの設定を行います。

LAN接続時の制約事項

CPM-100SH4、CPM-100H6をLAN接続してお使いになる場合、パソコンへのインストール時にネットワーク管理者にご相談ください。

■ネットワーク管理者の方へのお願い事項

CPM-100SH4、CPM-100H6はLANに接続してお使いいただけます。
以下にしたがってインストールしてください。

- 本体のIPアドレスなどの工場出荷時の値は、次の通りです。

設定項目	工場出荷時
IPアドレス	192.168.11.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

※次のIPアドレスは設定できません。

- ①0.0.0.0 (全て0)
- ②255.255.255.255 (全て255)
- ③127.×××.×××.×××
(ループバックアドレス群)
- ④×××.×××.×××.255
(サブネットブロードキャスト)

- 本体の設定変更のしかたは「**本体のIPアドレスを設定する**」を参照してください。



- インストール及び使用には「管理者」または「Administrators」グループのメンバーでのログインが必要です。
- インストール後に再起動します。複数ユーザーでログインしている場合は、管理者のみとし、他ユーザーはログオフしてからインストールしてください。

MEMO

- DHCPの自動取得、及びSNMPによる管理には対応していません。
- USB接続でローカルプリンタとしてインストールしたプリンタドライバは、インストーラを使って共存させたインストールをすることはできません。

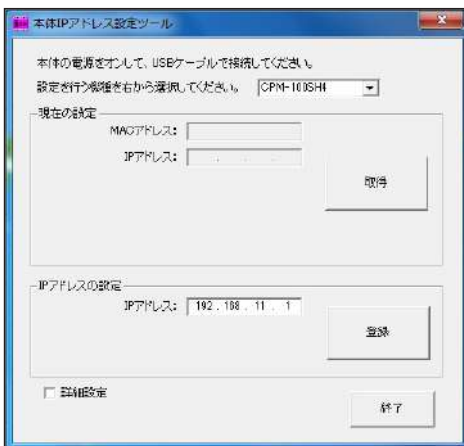
本体のIPアドレスを設定する

※本体のIPアドレス設定は、本体とパソコンをUSBケーブルで接続して行います。
(USBプリンタドライバのインストールは必要ありません。)

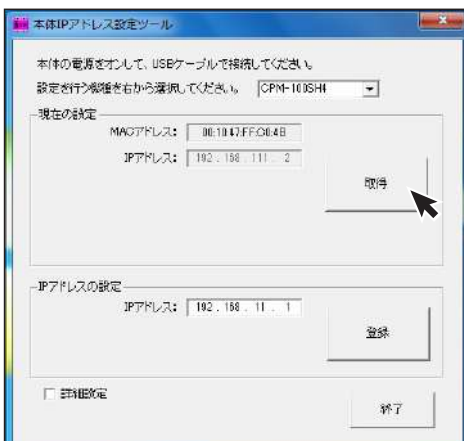
- 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
- 2 「BepopPC EX」のセットアップメニューが表示されます。[IPアドレス設定]をクリックします。



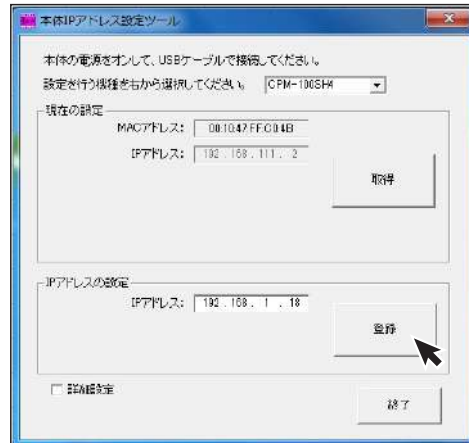
- 3 本体のIPアドレス設定ツールが表示されます。本体の電源を入れUSBケーブルで接続し、設定を行う機種を選択してください。



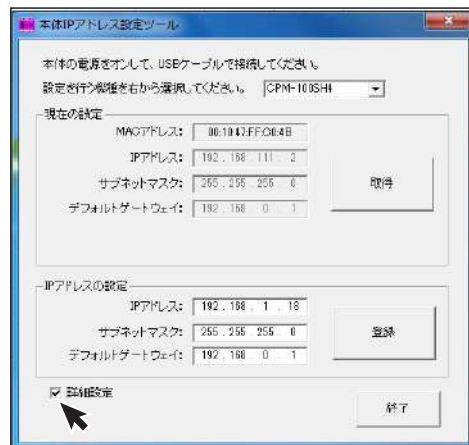
- ※画面にはIPアドレスの初期値が表示されます。
- ※ [取得] をクリックすると、現在接続されている機種 of IPアドレスとMACアドレスを確認することができます。



- 4 IPアドレスを入力し [登録] をクリックします。次に [終了] をクリックすれば本体のIPアドレスの設定は終了です。IPアドレスはプリンタドライバのインストール時に設定したアドレスを入力してください。



※ [詳細設定] をチェックすると、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの変更が行えます。



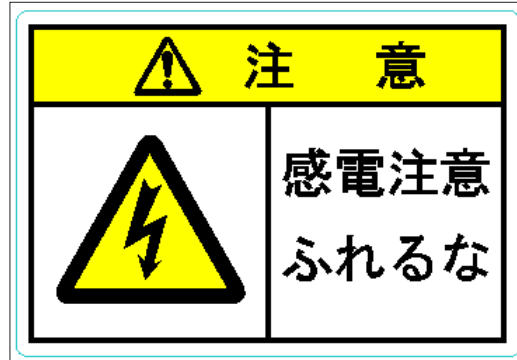
以上で本体のIPアドレスの設定は終了です。

まず使ってみましょう

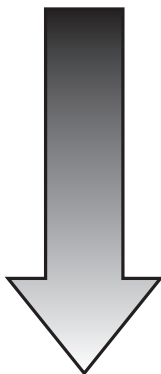
ラベルを作成する

以下のようなカラフルなラベルを作成してみましょう。

あらかじめ、別冊のインストールマニュアルにしたがってBepopPC EXおよびプリンタドライバをインストールしてからお試しください。



全体の流れ



- 1 BepopPC EXを起動させる
- 2 シンボル (ピクトサイン) を入れる
- 3 文字を入力する
- 4 表枠を挿入する
- 5 塗りつぶしをする
- 6 カット枠を挿入する
- 7 シートの種類を選択し、印刷する

MEMO

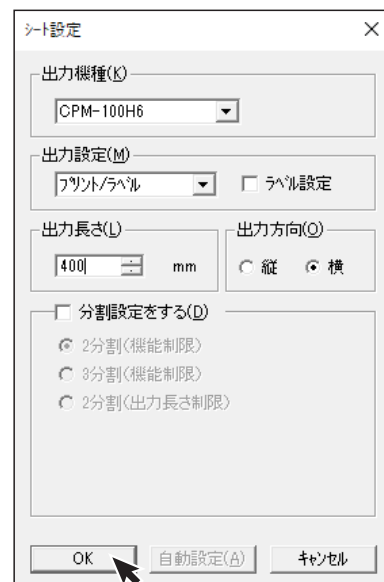
☆あらかじめラベルの大きさが決まっている場合は、**2** ~ **6** の手順を逆にしても作成し易いです。

1 BepopPC EXを起動させる


BepopPC EXを起動してください。

複数機種を使用されている場合は“シート設定画面”が表示されます。

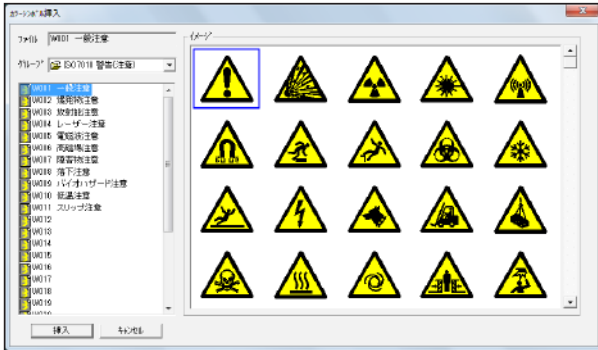
出力機種を選択し、出力設定を「プリント/ラベル」にして[OK]ボタンをクリックします。



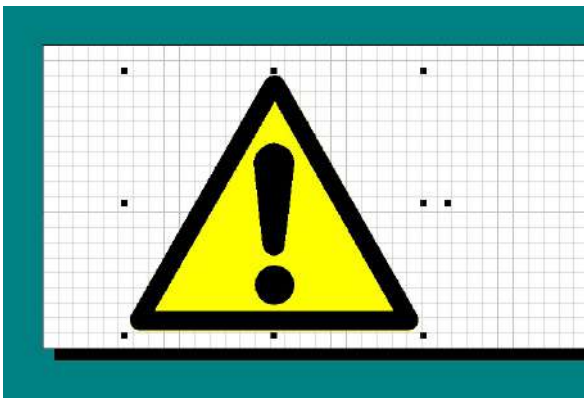
2 シンボル (ピクトサイン) を入れる

1 編集タブの  をクリックし、表示されたメニューから「カラーシンボル挿入」を選択します。

2 グループは「ISO7010警告(注意)」、シンボル名は「W001一般注意」を選択します。

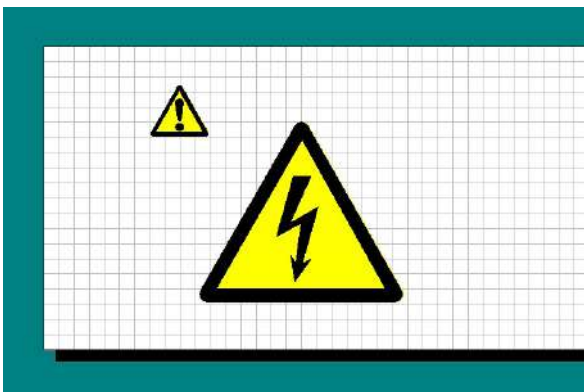


3 [挿入]ボタンをクリックすると、レイアウト画面にシンボルが貼り付きます。



4 シンボルのまわりの黒い■をドラッグして大きさやレイアウトを調整します。


5 手順 1 ~ 4 を繰り返して、グループは「ISO7010警告(注意)」、シンボル名は「W012」を挿入します。



3 文字を入力する

1 画面下部の色の中から、黒色をクリックします。



2 編集タブの  をクリックしてテキストボックスを選択し、文字を書きたい範囲を編集画面上にドラッグします。

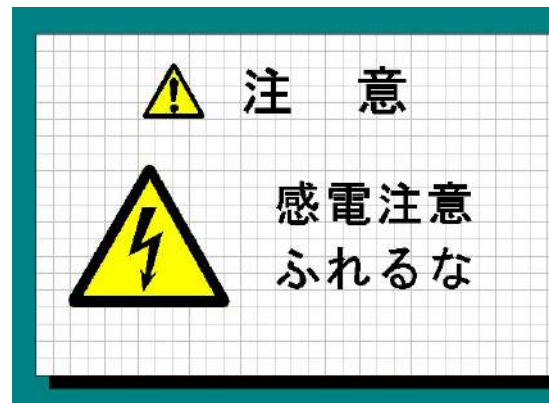
3 「テキストボックスのプロパティ」が開きます。




4 「注意」と文字を入力し、フォントの「MSゴシック」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

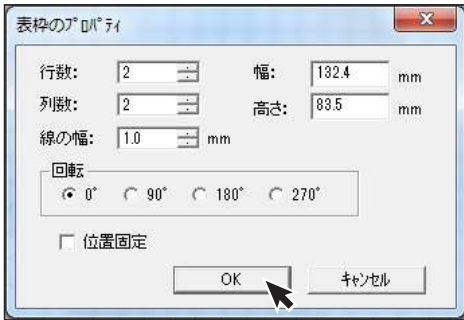
5 手順 2 ~ 4 を繰り返して、「感電注意 (ENTER キー) ふれるな」と入力します。

6 大きさやレイアウトを調整します。



4 表枠を挿入する

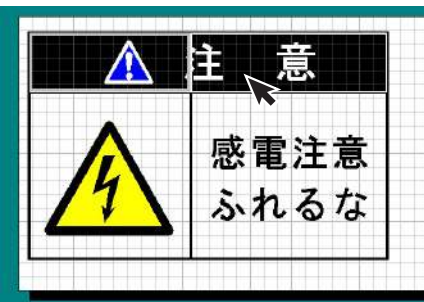
- 1 編集タブの  をクリックし、表示されたメニューから「表枠挿入」を選択して、枠を挿入したい範囲を編集画面上にドラッグします。
- 2 「表枠のプロパティ」が開きます。そのまま[OK]ボタンをクリックしてください。



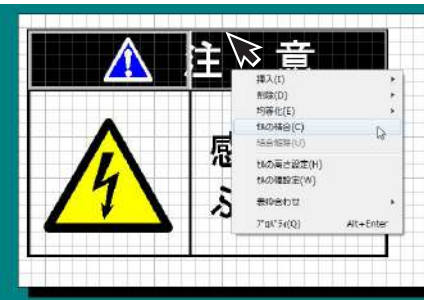
- 3 表枠の大きさと位置を合わせ、表枠全体を選択します。次にライン上にマウスを合わせ、ドラッグして縦横のラインの位置を調整します。



- 4 表枠が選択された状態で、上の2マスの片方を一度クリックしてから、もう片方のマスまでドラッグしてください。

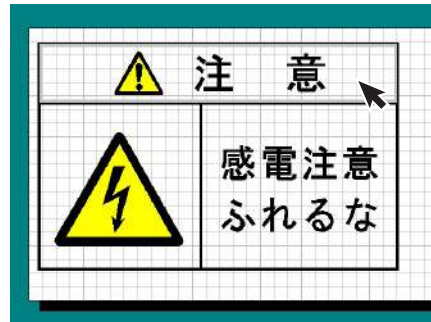


- 5 右クリックして[セルの結合]を選択してください。



5 塗りつぶしをする



- 1 塗りつぶす枠をクリックします。



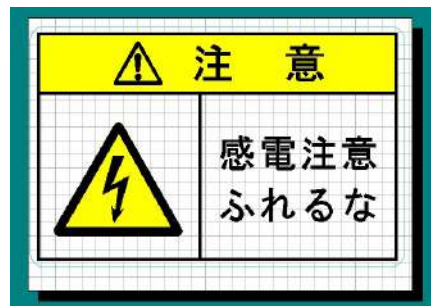
- 2 画面下部の色 (カラーバー) の黄色を選択します。




6 カット枠を挿入する

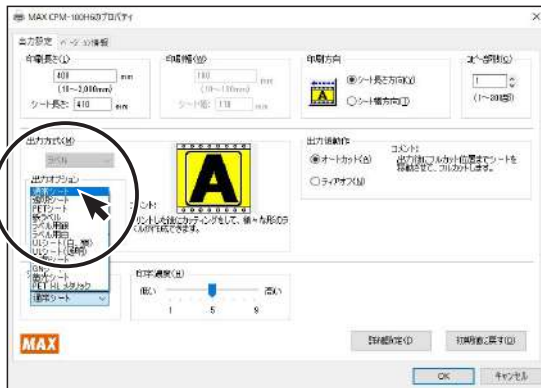
- 1 編集タブの  をクリックし、表示されたメニューから  角丸四角 (カット枠角丸四角) を選択します。カット枠角丸四角) を選択します。

- 2 カットしたい大きさにドラッグします。(挿入した後にカット枠をダブルクリックし、直接大きさを入力することもできます)



7 シートの種類を選択し、印刷する

- 1 本機にシートとインクリボンをセットします。
- 2 印刷タブの  [カラフル印刷]をクリックします。
※単色で印刷を行う場合は、[印刷]ボタンをクリックしてください。
- 3 [プロパティ]をクリックします。
左下「シート選択」の項目の▼を押します。
印刷しようとしているシートの種類を選んで[OK]ボタンをクリックしてください。



シート種類	対象シート	商品名
通常シート	標準色シートのうち塩ビのもの	下記 商品以外のシート
透明シート	透明塩ビシート	SL-S110CNTウメイ
PETシート	環境対応シートのPETシルバー	SL-S152N PETシルバー
紙ラベル	紙ラベル用シート	SL-S181PN カミラベル
ラベル用銀	ラベルPET銀シート	SL-S154NラベルPETギン (つや消し)
ラベル用白	ラベルPET白シート	SL-S153NラベルPET白
ULシート (白・銀)	UL用 白・銀シート	SL-S193N/ULシロ SL-S194N/ULギン
ULシート (透明)	UL用 透明シート	SL-S190N/ULTウメイ
油面シート	油面対応シート	SL-S145Nユメン
蓄光シート	蓄光シート	SL-S143Nチクコウ
GNシート	GNシリーズシート	SL-S112GN WHITE 他 商品名後部にGNとつくシート

※ULシートはCPM-100SH4、CPM-100H6で選択可

MEMO

- 実際にセットされているラベルと違うシート選択がされていると、カスレなど印字不良につながります。必ずセットされているシートと選択されているシートが同じ物かご確認ください。
- UL対応シートをお使いになる場合、必ずUL専用インクリボン(SL-R191T ULヨウクロ)をお使いください。違うインクリボンをお使いになると、カスレや印字不良につながるだけでなく、UL969規格の認証対象外となりますのでご注意ください。

- 4 [印刷/出力実行] ボタンをクリックします。



- 5 ステータスマニタが起動し、初期動作後、1色目の印刷が始まります。



- 6 印刷が止まり、シートの巻き戻しが始まった後、ドアカバーを開き、1色目のリボンカセットをはずして2色目のリボンカセットをセットします。(巻き戻しの最中でもリボンカセットの交換は可能です。)


- 7 ドアカバーを閉めると自動で2色目の印刷を開始し、ハーフカット、フルカットを行ない、カラフルラベルが完成します。

※作画データにない色のリボンがセットされている場合、以下のメッセージが表示されますので、使用した色のリボンに交換してください。「印刷続行」をクリックするとそのまま印刷を開始します。



シートの残量を確認する

ステータスマニタ上で、本体にセットされたシートの残量を確認することができます。出力する長さに対しシートが足りるかどうかがあらかじめ確認したり、シートの補充や管理に活用でき便利です。

- 1 パソコン右下の  アイコンをダブルクリックし、ステータスマニタを表示させます。
- 2 [シート残量取得] ボタンをクリックします。シート送り動作を行い残量を取得します。
- 3 おおよそのシート残量が表示されます。



MEMO

- シートの残量は、残りメーター数とセットの状態により、15～30cm程度実際の長さとは異なって表示される場合があります。また、ロールから切り離れたシートは正しく残量が表示されません。
- シート残量検知、ゴミ取り動作を行うため、印刷するレイアウトの長さ+15cmかつ、最低30cmのシート残量が必要です。
目安として、出力設定プリント/ラベルで、シート残量が40cmの場合、30cmのレイアウトは印刷できませんが、20cm程度であれば印刷が可能です。
※ただし、正常にシート残量検知できた場合に限りです。
(この時、印刷完了後のフルカットは残量エラーとなりませんが、印刷自体は完了しています)

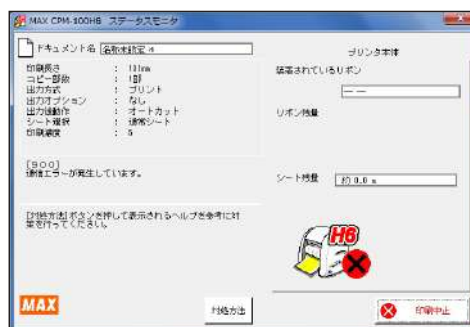
MEMO

ステータスマニタについて

印刷動作中は、ステータスマニタが表示され、印刷の進行状況やセットされたインクリボンの残量、色、シートの残量など、本体の現在の状態を確認することができます。



エラー発生時には、具体的なエラー内容を表示します。
(P39参照)
対処方法ボタンを押して表示される対応を行ってください。



シート先端検出について

シート引き出し中に印刷を中止したり、印刷がエラー停止した際に[シート先端検出] ボタンをクリックすると、自動でシートを引き戻して先端検出を行うため、引き出されたシートを手動(シート戻しボタンを押して)で戻す必要がなく便利です。

またラベル作成時に、枠をカットせず印刷がエラー停止してしまった場合、[シート先端検出] ボタンをクリックしたうえで[印刷のプロパティ] から[印刷する内容]の[カット枠のみ]を印刷実行することで、印刷が完了している部分に[カット枠]だけを追加することができます。(ただし、前回印刷がオートカット設定で正常終了していた場合に限り有効です。)



印字濃度を調整する

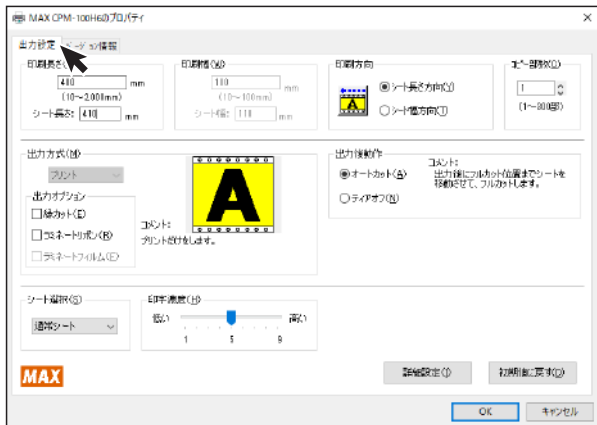
本機で印刷する印字濃度を調整できます。印刷がカスしている場合や小さい文字がつぶれている場合は、パソコン上のプリンタのプロパティで印字濃度を調整してください。

1 BepopPC EXの印刷タブにある「単色印刷」を選びます。(印刷アイコンのクリックでも可)

2 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。



3 プリンタのプロパティの「出力設定」画面を表示させます。



4 印刷濃度のスライダーを1目盛ずつ変えて設定し、[OK] ボタンをクリックします。

気温(室温)が高くて、印字物が下図のようになった時は、印字濃度を“低い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



気温(室温)が低くて、印字物が下図のようになった時は、印字濃度を“高い”へ1目盛ずつ設定を変えてください。



5 実際に印刷を行ないながら、適切な設定にしてください。

お願い

☆気温の低い場所では印字先端部のインクの転写性が悪くなり、印字品質が劣化する場合があります。暖かい場所(15℃以上を推奨)でご使用ください。

ラミネートフィルムを使う

本機では、印刷したシートの上にラミネートフィルムを貼り付けることで、こすれや薬品に強く、文字の消えにくいラミネートラベルを作ることができます。パソコン上のプリンタのプロパティで以下の設定をおこなってください。
※ラミネートフィルム（別売）が別途必要です。

- 1 BepopPC EXの印刷タブにある「単色印刷」または「カラフル印刷」を選びます。



- 2 印刷ダイアログで「印刷する内容」の▼をクリックし、「プリント+カット枠（ラベル）」を選びます。

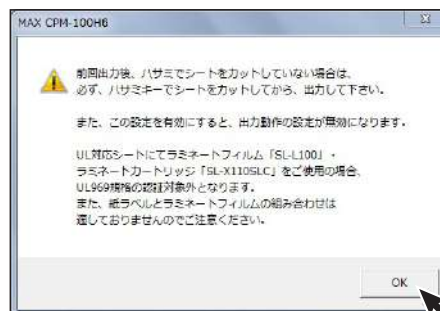


- 3 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。

- 4 プリンタのプロパティの「出力設定」画面で「出力オプション」欄の「ラミネートフィルム」にチェックします。



- 5 ラミネートフィルムモードについての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。
※前回出力後、本体のハサミでシートをカットしていない場合は、必ずシートカットボタンでシートをカットしてから出力してください。



- 6 プリンタのプロパティに戻ります。[OK] ボタンをクリックします。

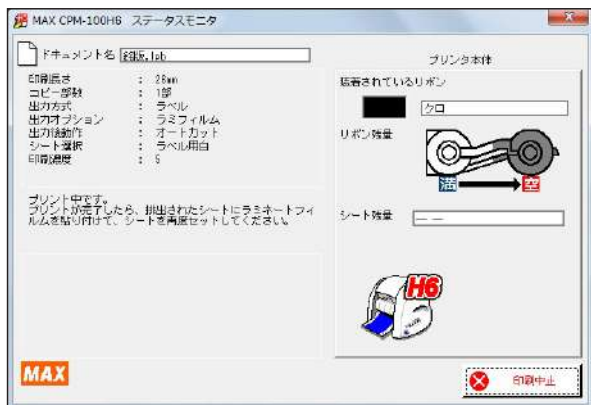
- 7 印刷ダイアログで「印刷/出力実行」ボタンをクリックすると印刷を開始します。

8 印刷が終了したら、シートが本体のハサミでカットされるので、印刷部分の上にラミネートフィルムを貼り付けます。

※このとき、シートからラミネートフィルムがはみ出さないようにまっすぐに貼り付けてください。シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しないことがあります。

※ラミネートフィルムの貼り付け方法につきましては「ラミネートフィルムの貼り付け」をご参照ください。

9 セットされているシートをスプロケットから外し、ラミネートフィルムを貼り付けたシートを再度本体にセットしてください。



10 ドアカバーを閉じると自動でカット枠のカッティングを開始します。

11 カッティングが終了すると自動的にシートが送られシート出口から排出されます。

ラミネートフィルムのオフセット設定

ラミネートフィルムモードでは、カッティング開始位置の調整が行なえます。印刷とカットのずれがある場合に設定してください。

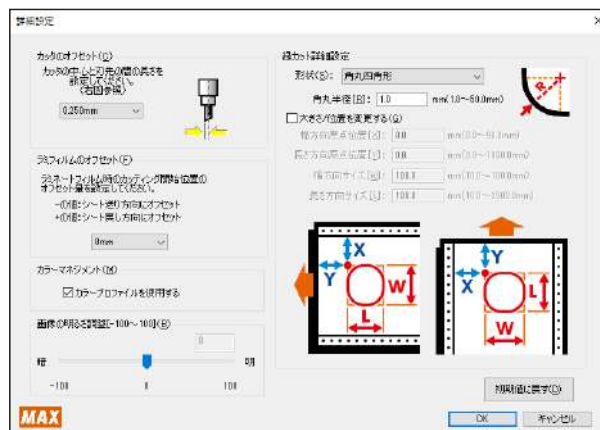
1 BepopPC EX 入力画面で、「ファイル」-「印刷」を選びます。

2 印刷ダイアログ画面で、「プロパティ」ボタンをクリックします。

3 「出力設定」タブをクリックします。

4 「詳細設定」ボタンをクリックします。

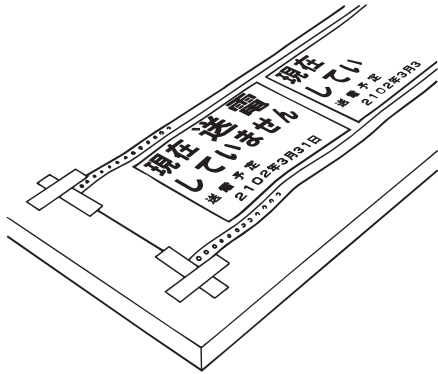
5 ラミフィルムのオフセット量を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



ラミネートフィルムの貼り付け

あらかじめ必要な長さのラミネートフィルムを用意してください。貼り付けの際はラミネートフィルムがシートからはみ出したり、気泡が混入したりしないよう注意して貼り付けてください。

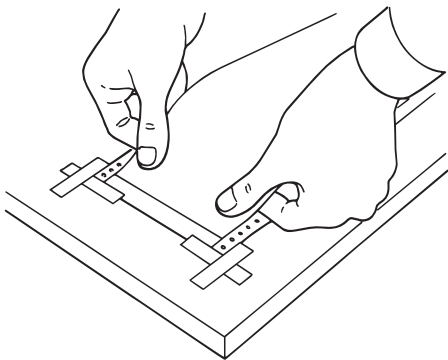
- 1 印刷済みのシートを紙テープ等で台の上に固定します。



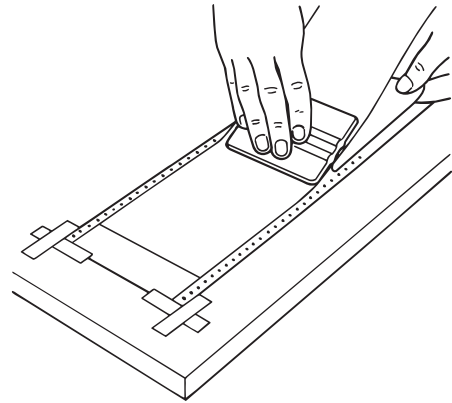
- 2 その上に台紙をつけたままのラミネートフィルムを重ね合わせ、平行にそろえます。

- 3 ラミネートフィルムの先端約2cmだけ台紙をはがし、裏に折り曲げます。

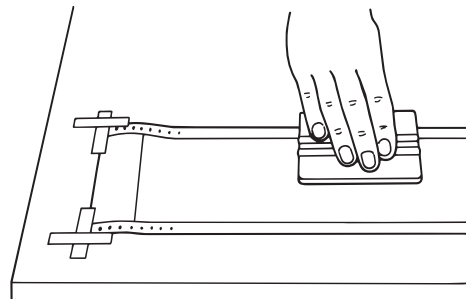
- 4 はがした2cmのラミネートフィルムを印刷済みシートの先端に合わせて貼り付けます。



- 5 はがした2cmの台紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を本体付属のスキージで圧着していきます。



- 6 スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



お願い

- ☆ラミネートフィルムは文字を消えにくくするための保護フィルムです。全ての薬品、全ての環境での性能を保証するものではありません。
- ☆ラミネートフィルムを使用して作成された成果物は、お客様ご自身が評価を行なった上でご使用ください。
- ☆貼り付けは10℃以上の温度下で行なってください。
- ☆貼る面の汚れをキレイに拭き取ってから貼り付けてください。
- ☆ラミネートフィルムでシート両端の穴をふさいだり、シートからはみ出したりしないように貼り付けてください。シートからはみ出して貼り付けた場合、正常に動作しません。
- ☆貼り付け後、スキージを使い、十分に圧力をかけて密着させてください。
- ☆ラミネートフィルムは本体のハサミを使ってカットしないでください。本体のハサミでカットした場合、ハサミに粘着材が付着し、切れが悪くなったり、故障の原因となります。

ラミネートリボンを使う

本機では、ラミネートリボンを使うことで印刷した上に薄い保護層を作り、こすれに強い文字の消えにくいラベルを作ることができます。パソコン上のプリンタのプロパティで以下の設定をおこなってください。

※ラミネートリボン（別売）が別途必要です。

- 1 BepopPC EXの印刷タブにある「単色印刷」または「カラフル印刷」を選びます。



- 2 印刷ダイアログの「プロパティ」をクリックします。

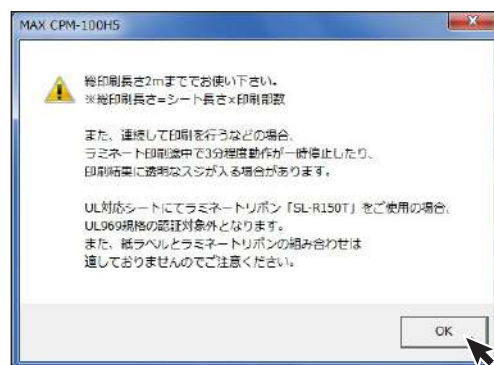


- 3 プリンタのプロパティの「出力設定」画面の、「ラミネートリボン」にチェックします。



- 4 ラミネートリボン印刷についての注意メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

※ラミネートリボン印刷する場合、総印刷長さ（＝シート長さ×印刷部数）は2mを超えることはできません。



- 5 プリンタのプロパティに戻ります。[OK] ボタンをクリックします。

- 6 印刷ダイアログで [印刷/出力実行] ボタンをクリックすると印刷を開始します。

お願い

☆ラミネートリボン印刷内容は消えにくくする機能です。文字が消えないことを保証するものではありません。

☆ラミネート印刷は30℃以下の環境でご使用ください。

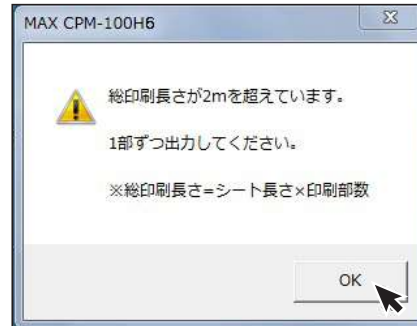
☆白リボンで印刷した部分には、ラミネートリボンが十分な機能を発揮しない場合があります。

☆総印刷長さが2mを超える場合、印刷されず次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、レイアウト画面に戻ります。

※ (総印刷長さ) = (シート長さ) × (印刷部数)

例. シート長さ40cm × 印刷部数6部 = 総印刷長さ
240cm > 2mとなり、メッセージが表示されます。

※確実にラミネートリボン印刷するために、印刷部数は
1枚単位で出力してください。



☆ラミネートリボン印刷中にサーマルヘッドの温度上昇により一時停止することがあります。

※本体LEDランプが緑の長短点滅(短い点灯と長い点灯を交互に繰り返します)状態になります。

しばらく(3分程度)待ってください。温度が下がり次第、自動で印刷を再開します。又、パソコン画面上にエラーメッセージが表示された場合(タイムアウトメッセージ)、メッセージボタンをクリックせずに、印刷が再開されるまでそのままお待ちください。

切り文字を作成する


CPM-100SH4、CPM-100H6では、切り文字（カッティング）も作成できます。
（※PM-100W2は定形5種類の枠切のみ可）

1 BepopPC EXを起動してください。

2 文字を入力する

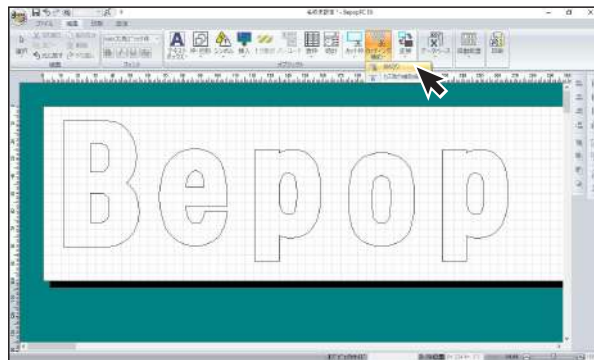
① 設定タブの「シート設定」で“シート設定画面”を開き、出力設定を「カッティング」にして、[OK]ボタンをクリックします。




② 編集タブの  をクリックして、編集画面上でドラッグし、プロパティ画面が開いたら、文字を入力します。



③ 編集タブのカッティング補助をクリックし表示されたメニューから「枠切り」を選択します。クリックしてから編集画面上をドラッグし、カスタリがしやすいように文字の周りに枠切りを設定します。



④ 印刷タブの  (単色印刷) をクリックすると、カッティングを開始します。



3 カットした文字を貼り付けます。



「カットした文字を貼り付ける」を参照してください。

カットした文字を貼り付ける

カス取り

文字のカットが終了したら、転写できるようにするために次のような手順で作業を行います。

- 1 文字をカットしたら、文字に必要なのない部分の取り除き作業を行います。この作業は、シートを送り出し、カットしてから行ってください。

斜線部分を取り除きます。

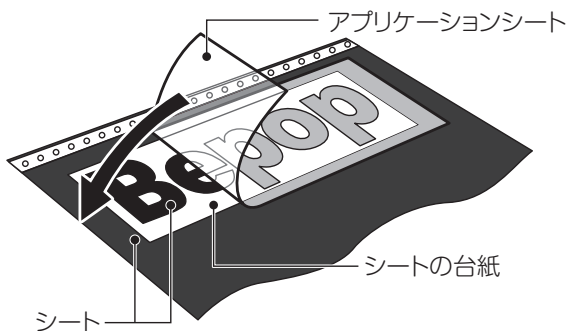


※不要部分の取り除き作業は、付属のピンセットや市販のカッターをお使いください。

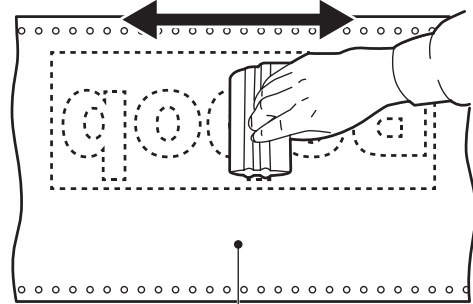
転写

カットした内容のレイアウトのまま貼り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

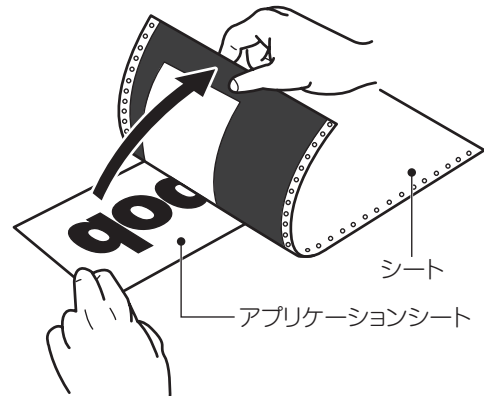
- 1 アプリケーションシートを適当な大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）に切ります。アプリケーションシートを台紙からはがし、カットした文字の上にしわにならないように貼り付けます。



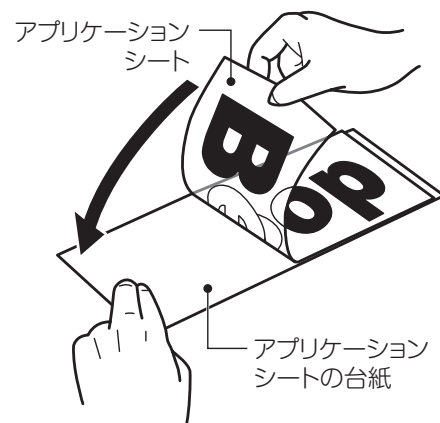
- 2 アプリケーションシートの上から擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの台紙側から擦ってください。



- 3 アプリケーションシートを下にしてシートの台紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



- 4 そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの台紙の上に乗せ、貼り合わせます。



MEMO

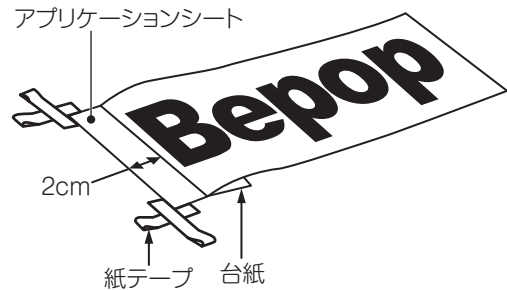
- ☆カット面積の小さい文字の中の部分から取り除くと作業が行いやすいです。
- ☆アプリケーションシートの台紙は再度使いますので、捨てないでください。

文字の貼付け

貼り付けるときの注意点は、位置合わせ、気泡の混入、シートの伸び防止（一度伸びると元に戻らない）の3点です。貼り付け方は文字の大小、面積・長さによって、ドライ方式とウェット方式を使い分けることをおすすめします。

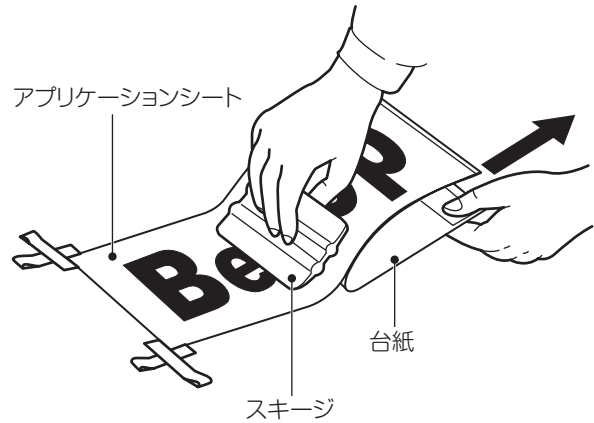
【ドライ方式（長さ50cm以下のとき）】

1 台紙を付けたまま、貼り付ける場所に位置合わせし、紙テープで印をつけます。



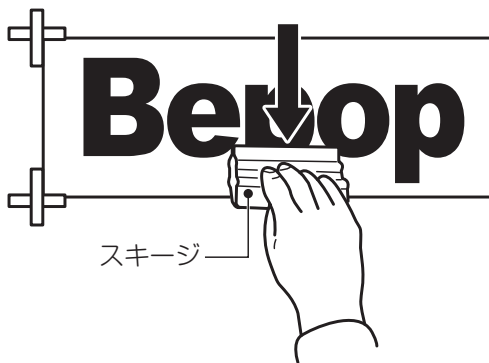
2 一端2cmだけ台紙をはがし、裏に折り曲げます。

3 はがした2cmのアプリケーションシートを紙テープの印に合わせて貼り付けます。

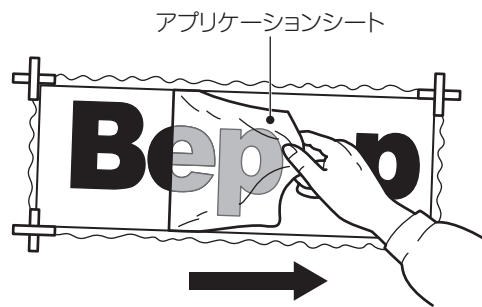


4 はがした2cmの台紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分を圧着していきます。

5 スキージは上から下へ、左から右へというように一定方向に走らせます。



6 アプリケーションシートを180度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。

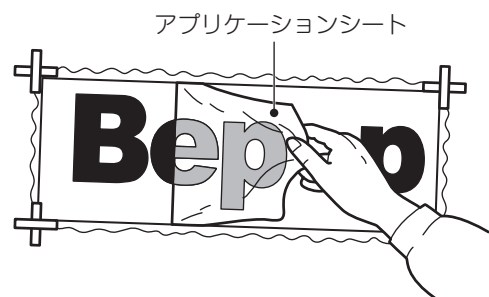
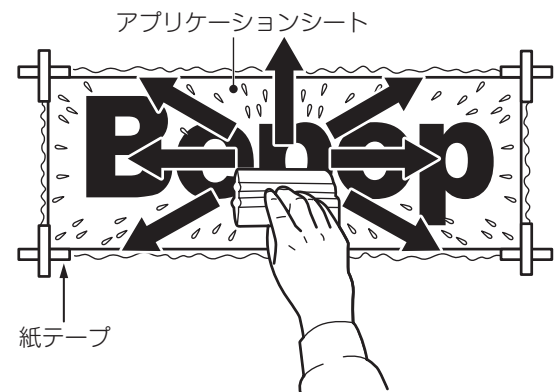
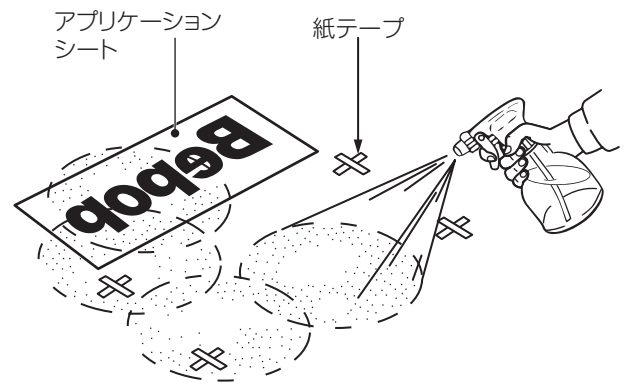
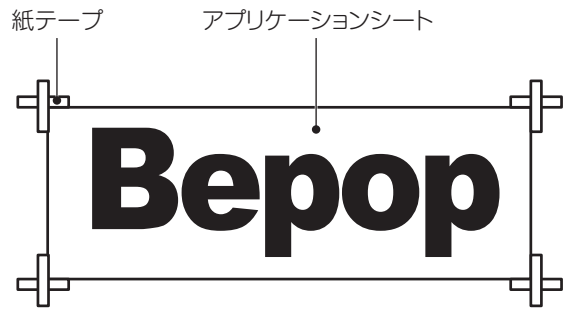
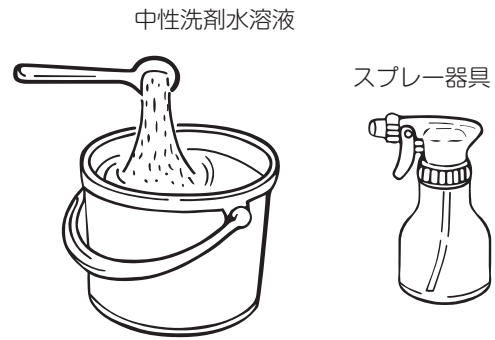


MEMO

☆貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡を潰し中の空気を押し出して圧着してください。

[ウェット方式(長さ50cm以上のとき)]

- 1 家庭用中性洗剤を4リットルの水にスプーン1~2杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液をつくります。
- 2 作った中性洗剤水溶液をスプレー器具に入れてください。
- 3 台紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置合わせをして紙テープで印をつけます。
- 4 被着面と、アプリケーションシートの台紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。
- 5 アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認します。
- 6 スキージを中心から端に向かってこすり、中性洗剤水溶液を押し出し、空気を抜きながら圧着してください。
- 7 アプリケーションシートを180度の角度で、ゆっくりと注意深くはがしてください。



アンインストールの方法

「BepopPC EX」のアンインストール

アプリケーションソフトをアンインストールするには、次の手順で行なってください。

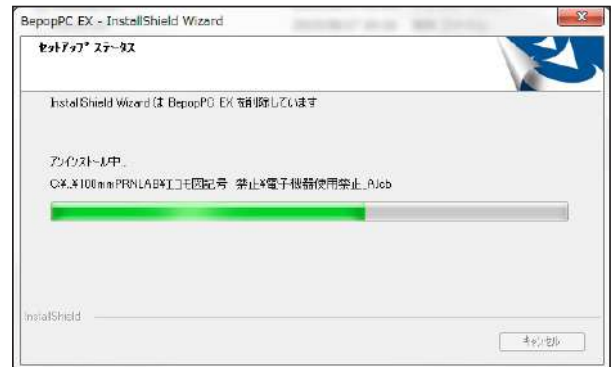
- 1 起動中のアプリケーションソフトやウイルススキャンソフト等の常駐型ソフトをすべて終了します。
- 2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。ユーザーアカウント制御画面では「続行」をクリックしてください。
- 3 BepopPC EXのセットアップ表示メニューが表示されます。[BepopPC EXのセットアップ]をクリックします。



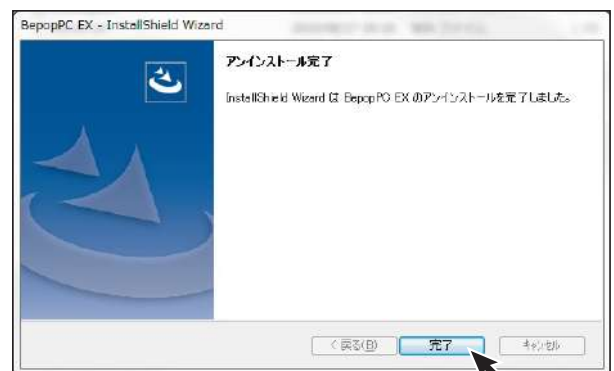
- 4 [はい] をクリックします。



- 5 アンインストールを開始します。



- 6 [完了] をクリックします。BepopPC EXのアンインストールが完了します。



※アンインストールをおこなうと、「MAX太角ゴシック体・MAX太丸ゴシック体」の書体も削除されます。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバのアンインストールを行なうときは、必ず下記手順で行なってください。

【ご注意ください】

- パソコン起動後1度でもBepopで出力している場合は、プリンタドライバをアンインストールできないことがあります。パソコンを再起動してからこのアンインストールを行なってください。
- 他の方法で行なうと、パソコン内に保存されているシステム情報などが削除されず、次のインストールに影響する場合があります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。

2 BepopPC EXのセットアップメニューが表示されます。
[プリンタドライバのみのセットアップ] をクリックします。



3 [ドライバのアンインストール] をクリックします。



4 該当のプリンタを選択し[アンインストール] をクリックします。



5 「はい、直ちに再起動します」をチェックし、[完了] をクリックします。



6 パソコンを再起動するとアンインストールは終了です。

※アンインストール後は必ずパソコンを再起動してください。

情報サイト「Bepop-Fun」を利用する

Bepop 情報サイト <https://wis.max-ltd.co.jp/op/bepop-fun/> では、次のようなサービスを提供しています。

- 最新シンボル・テンプレートのダウンロード
- 導入事例、用途のご紹介
- Bepop 使い方紹介
- 最新商品一覧のご紹介

※ご利用は無料です。一部ダウンロードサービスは会員登録をして頂くと利用ができます。
※上記サイトの内容は予告なく変更することがあります。

印刷実行時のPC画面上、ステータスマニタで表示される、エラーメッセージ一覧

エラーコード	エラー表示内容	本体LEDの状態	対処方法	参照	
本体のセッティングに関わるエラー	200	ドアカバーが開いています。	赤点灯	ドアカバーを閉じてください。	P.5
	201	シートがありません。	赤点灯	新しいシートを装着してください。	P.6
	202	シート送りエラーが発生しています。	赤点灯	マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートを装着してください。	P.6
	203	残量検出に必要なシート残量がありません。	赤点灯	印刷に十分な長さのシートを装着してください。	P.6
	311	出力ページと異なる色のリボンが装着されています。xxxリボンを装着してください。	緑点灯	ステータスマニタが指示している色のリボンを装着してください。	P.7
	314	印刷に必要なリボン情報が取得できません。専用リボンが装着されているか、または正しくリボンが装着されているか確認してください。	赤点灯	ドアカバーを開け、インクリボンが正しく装着されているか確認してください。	P.7
	315	リボンの残量がありません。残量のあるリボンに交換してください。	赤点灯	十分残量があるインクリボンを装着してください。	P.7
	323	出力ページで使用するリボンと異なる特性のリボンが装着されています。	緑点灯	ステータスマニタが指示しているインクリボンを装着してください。	P.7
	—	リボンの残量が少なくなってきました。(2m以下)印刷途中でリボンが無くなってしまいます。	緑点灯	印刷に十分な残量のインクリボンを装着してください。	P.7
	—	リボンが装着されていないか、使い切りリボン以外が装着されています。	緑点灯	使い切りインクリボンを正しく装着して印刷を続行してください。	P.7
	—	装着されているリボン色の印刷データはありません。リボンを交換してください。このまま続けるには、下のリストから印刷する色を選択して[印刷続行]を押してください。	緑点灯	レイアウトに設定されている色のインクリボンを装着してください。	P.7
	—	装着されているリボン色の印刷データはありません。リボンを交換してください。また、リボンの残量が少なくなってきました。(2m以下)印刷途中でリボンが無くなってしまいます。	緑点灯	十分残量があり、レイアウト上で設定された色のインクリボンを装着してください。	P.7
	—	印刷に必要なリボン情報が正しく取得できないため、正常に出力できない可能性があります。	緑点灯	専用インクリボンを正しく装着して印刷を続行してください。	P.7
—	特性の異なるリボンが装着されています。正しく色を表現できない可能性があります。このまま続けるには、[印刷続行]を押してください。	緑点灯	通常印刷が設定されたレイアウトに対してプロセスカラーリボンが装着されているか、プロセスカラー印刷が設定されたレイアウトに対し通常リボンが装着されています。印刷設定に合ったリボンを装着してください。	P.7	
—	特性の異なるリボンが装着されています。正常に出力できない可能性があります。また、リボンの残量が少なくなってきました(2m以下)。印刷途中でリボンが無くなってしまいます。	緑点灯	十分残量があり、印刷設定に合ったリボンを装着してください。	P.7	
印刷実行時のエラー	400	ドアカバーが開いています。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、ドアカバーを閉じてから再出力を行ってください。	P.5
	401	シートがありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.6
	402	リボンがありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるインクリボンを装着してから再印刷を行ってください。	P.7
	403	シートの先端を検出できません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、シートを正しく装着してから再印刷を行ってください。	P.6
	404	シート送りエラーが発生しています。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、マックス(株)純正の、商品名の後ろにNのついたシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.6
	405	印刷に必要なシート残量がありません。	赤点灯	ステータスマニタで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおし、十分残量のあるシートを装着してから再印刷を行ってください。	P.6
	406	UL対応シートとインクリボンの組み合わせが適していません。	緑点灯	UL対応シートへの印刷には、UL対応インクリボンをご利用ください。	—
	407	UL対応シートでカラフル印刷はできません。	緑点灯	UL対応シートへの印刷には、UL対応インクリボンをご利用ください。	—

エラーコード	エラー表示内容	本体LEDの状態	対処方法	参照	
印刷環境に関するエラー	500	本体を操作中です。	緑点灯	本体の操作が終わった後に印刷を行ってください。	—
	501	プリンタヘッドが所定の温度より高温になっています。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が下がってから電源を入れなおし、再印刷を行ってください。	—
	502	プリンタヘッドが所定の温度より低温になっています。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、ヘッド温度が上がってから(室内環境が暖かくなってから)電源を入れなおし、再印刷を行ってください。	—
	503	本体がパソコンから受信したデータが異常です。	赤点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、出力先機種の確認を行ってから電源を入れなおし、再度印刷を行ってください。	—
	504	本体がパソコンから受信したデータ量が最大容量を超えました。	赤点滅	レイアウトを確認し、オブジェクトの数を減らしてください。	—
	505	印刷可能範囲内に有効な印刷データがありません。	緑点灯	印刷可能範囲内にオブジェクトを作成してください。	P.23
	510	データサイズが処理可能なサイズを超えました。	緑点灯	レイアウトを確認し、オブジェクトの数を減らしてください。	—
	—	ヘッド温度が下がるのを待っています。カバーは開けずにしばらくお待ちください。ヘッド温度が下がったら自動的に再開します。	緑点滅	ヘッド温度が下がるまで、しばらくお待ちください。	—
修理の必要なエラー	600	プリンタヘッドの異常です。	緑赤交互点滅	ステータスモニターで印刷中止を行ったうえで、電源を入れなおしてください。症状が改善しない場合は修理が必要です。購入販売店、最寄りのサービスステーションまでご相談ください。	P.5
	601	カッタの原点を検出できません。			
	602	ハサミが正常に動作しません。			
	603	ヘッドユニットが正常に動作しません。			
通信エラー	900	本体とPCが接続されていません。	変化なし	USB、LANケーブル、電源コードがしっかりささっているか、IPアドレスが合っているか、タイムアウト時間を変更していないかご確認ください	P.12 P.13 P.21 P.22
	901	接続はされているが、PCから本体にデータが書き込めていません。		タスクバーにある、プリンタアイコンをダブルクリックしステータスモニターを表示させ、設定画面よりタイムアウトの時間の設定を確認してください。	—
	902	本体からPCへ応答がかえってきません。			
	903	言語モニターとステータスモニター間の通信がうまくいっていません。		ドライバの再インストール、PCの再起動を行ってください。	P.16

その他のトラブル

	症状	ご確認ください	対処方法
BeopPC EX 互換ソフトウェア	ファイルの上書きができない。	管理者権限以外の使用者が自分が作成したファイル以外のファイルを上書き保存することはできません。	名前を変えて保存するか、管理者でログインしてください。
	印刷できたりできなかったりする。	「プリンタドライバのプロパティ」-「詳細設定」のタブを開き、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」に設定されていますか	「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」及び「すぐに印刷データをプリンタに送る」に設定されているかご確認ください。
	カラフル印刷ができない。	2人以上のユーザーでログオンした状態でカラフル印刷を行っていませんか。(リボン交換のメッセージが使用していないユーザー画面に表示されてしまいます)	カラフル印刷を行う場合は、ログオンユーザーを1名に限定してお使いください。
ドライバ接続に関するトラブル	印刷ができない。	ステータスモニターが表示されない場合は、右記対応ページをご参照ください。ステータスモニターにエラーコードが表示されている場合は、P.40~41【エラーメッセージ一覧】をご参照ください。	P.43【ステータスモニターが表示されず、印刷できない】を参照してください。
	インストールしようすると、「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない。	お使いのPCのOSを確認し、P.42【「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない】を参照してください。	
	「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない。	P.42【「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない】を参照してください。	
	アンインストールもインストールもできない。	印刷ジョブが残っていない場合は、右記対応ページをご参照ください。	P.42【アンインストールもインストールもできない(印刷ジョブが残っていない場合)】を参照してください。
	LAN接続でプリンタが認識できない。	プリンタ本体のIPアドレスは設定されていますか。プリンタ本体側もIPアドレス設定が必要です。詳細は右記対応ページをご参照ください。	P.21【本体のIPアドレス設定】を参照してください。

プリンタドライバのインストールに関するトラブル

■インストールしようすると、「GRPSSUP.DLLが不正です」と表示されてインストールできない

■「プリンタドライバのインストールに失敗しました。」と表示され、インストールできない

- 1 パソコンを再起動します。
- 2 P.39「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。
- 3 パソコンを再起動します。
- 4 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。
- 5 P.16「『BepopPC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合
(印刷ジョブが残っている場合)

- 1 「スタート」→「デバイスとプリンター」を表示し、該当するプリンタのアイコンをダブルクリックします。
- 2 ドキュメントが残っていた場合は、「プリンタ」→「すべてのドキュメントを取り消し」を行います。
- 3 再度、アンインストールを行います。

■アンインストールもインストールもできない場合
(印刷ジョブが残っていない場合)

- 1 P.16「『BepopPC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って機種選択まで進みます。
- 2 ShiftキーとLキーを同時に押しながら、[次へ]をクリックします。



- 3 パラレルケーブルにチェックし、[次へ]をクリックしてください。



- 4 [インストール]をクリックします。



- 5 「はい、直ちに再起動します。」をチェックし、[完了]をクリックしてパソコンを再起動します。



- 6 P.39「プリンタドライバのアンインストール」に従って、ドライバのアンインストールを行います。

- 7 パソコンを再起動します。

- 8 ウイルス対策ソフトが動作している場合、終了させます。

- 9 P.16「『BepopPC EX』とプリンタドライバのインストール」に従って再度インストールを行います。

ステータスマニタが表示されず、印刷できない

ドライバのインストールは、正常に終了したが、印刷時にステータスマニタ（インクの残量やプリンタの状態を表示するウィンドウ）が表示されない。また、タスクバー（通常は画面右下のアイコン）に標準プリンタのアイコンが表示されて、CPMのアイコンが表示されない。



CPM-100SH4



CPM-100H6



PM-100W2

原因

ステータスマニタが起動していないか、ドライバのインストール中で同時に行っているステータスマニタのインストールに失敗してしまう為です。失敗の原因はウイルススキャンソフトの動作等の影響が考えられます。CDからのファイルのコピー自体は完了しています。

対処方法

1 症状の確認

「スタート」→「コントロールパネル」→（「システムとセキュリティ」）→「管理ツール」→「サービス」から、サービスのウィンドウを開きます。

※（ ）内は、コントロールパネルがカテゴリ表示の場合

名前のあるところに

CPM-100SH4の場合

MAX CPM-100SH4 Option UI Manager

CPM-100H6の場合

MAX CPM-100H6 Option UI Manager

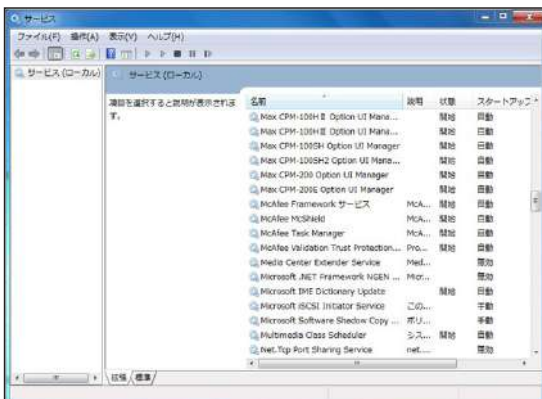
PM-100W2の場合

MAX PM-100W2 Option UI Manager

があるか確認します。

名前のない場合はこの症状に該当します。

※名前がある場合は、状態が開始になっているか確認します。停止している場合は、右クリックで開始をクリックしてPCを再起動してください。



- 2 管理者権限（アドミニストレーター権限）でログインしているか確認します。
- 3 ウィルス対策ソフト（ウイルスバスターなど）が動作していないか確認します。動作しているときは、終了させます（停止では不十分です。必ず終了させます。）
- 4 手動でのステータスマニタのインストールを行います。「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択します。



上記のように名前の欄に（上記はCPM-100H4の場合）

CPM-100SH4の場合：**MCP1SH4OS -INSTALL**

↑↑
半角スペース ハイフン

CPM-100H6の場合：**MCP1H6OS -INSTALL**

PM-1002Wの場合：**MPM1W2OS -INSTALL**

と入力し、OKボタンをクリックするとステータスマニタがインストールされます。

（注意 すべて半角文字で入力してください。OSとハイフンの間は半角スペースです。）

※ここでエラー（ファイルがありません）が表示される場合は、上記名前の欄の入力の誤りが考えられます。

5 確認方法

表示したサービスの中に 1 で確認した名前があるか再度確認します。

状態：開始 スタートアップの種類：自動

となっていれば、ステータスマニタのインストールが完了です。（サービスのウィンドウを開いたまま手動インストールを行った場合は、表示の更新を行ってから確認してください。）

ここで表示が出ない場合は、再起動後、2、3を行い、ドライバのアンインストールを行います。

再起動後、2、3を行い、通常のインストールを行います。

通常のインストールで失敗した場合は、4の手動インストールを行います。

- 6 完了後、再起動を行ってください。

お手入れのしかた

印字がかすれたり、連続したスジ状の印字抜けが発生した場合には、ヘッドクリーナー（CPM-100SH4に付属）またはアルコールを浸した綿棒で、プリントヘッドを清掃してください。



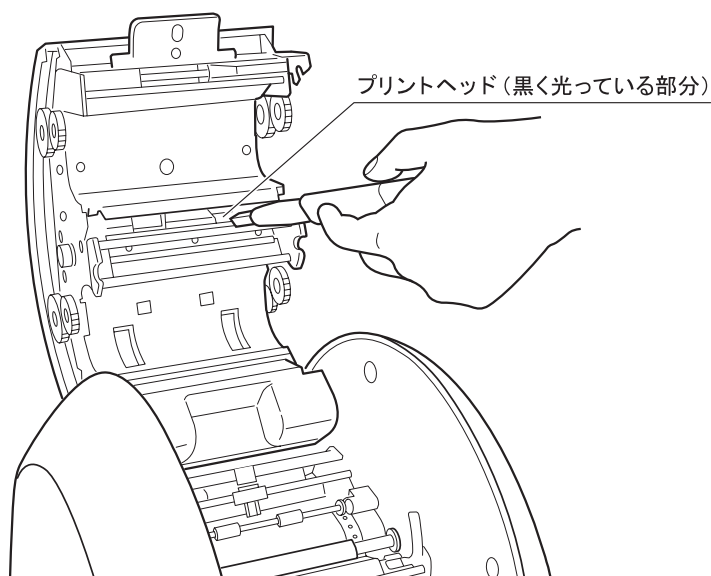
印字かすれ



印字ぬけ

※この作業は、必ず電源をOFFにし電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
また、印刷直後のプリントヘッドは高温になっており、やけどするおそれがあります。
プリントヘッドが十分にさめてから作業を行ってください。

- ①本体の電源をOFFにします。
- ②本体からインクリボンカセットを取り外します。
- ③プリントヘッド（黒く光っている部分）にヘッドクリーナーまたはアルコールを浸した綿棒の先をあてて数回軽く前後させます。



※クリーニングを行っても症状が改善されない場合は、販売店またはサービスステーションに修理をご依頼ください。

お願い

☆シートにホコリやゴミや油が付着すると、印刷が点状に抜けることがあります。シートの保管は開梱時に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミや油が付着しないよう注意してください。付着してしまった場合は布などで取り除いてからご使用ください。（薬品などは使用しないでください。）

商品仕様

商品名		CPM-100SH4	CPM-100H6	PM-100W2
プリント部	印字方式	熱転写方式		
	印字密度	600dpi	400dpi	203dpi
	印字速度	50mm/sec.	25mm/sec.	
カッティング部	分解能	0.014mm/step	0.025mm/step	
	カッティング速度	最大120mm/sec.		
最大出力範囲 (1ページ)		100×2,000mm		
インターフェイス		USB2.0 フルスピード LAN 100baseTX		USB2.0 フルスピード
使用環境		温度：10～35℃ 湿度：35～80%（ただし結露しないこと） 湿度60%以上は27度以下推奨 ※UL対応シートをご使用の場合は、温度15～30℃ 湿度40～80%（湿度60%以上は27℃以下）でお使いください。 ※バリューシートをご使用の場合は、温度25～35℃ 湿度40～80%（湿度60%以上は27℃以下）でお使いください。		
電源		AC100V±10% 50/60Hz		
消費電力		70W	85W	
外形寸法		W330×D320×H320mm		
質量 (本体のみ)		9.5kg	9.0kg	

※デザイン・仕様などについては、将来予告なしに変更することがあります。

ご不明な点は下記へお問合せください

情報サイト「Bepop-Fun」

<https://wis.max-ltd.co.jp/op/bepop-fun/>

ご利用は無料ですが、お客様登録をお願いします。

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200** (土日、祝日、当社指定休日を除く)

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容は対応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

支店・営業所

札幌、仙台、東京、静岡、名古屋、大阪、広島、福岡

修理に関するお問合せは

マックスエンジニアリングサービス株式会社

東日本／東京サービスステーション

〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-19

TEL 042-548-5332(代)

西日本／大阪サービスステーション

〒553-0004 大阪府大阪市福島区玉川1-3-18

TEL 06-6444-2089(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

修理代替機貸出サービス

修理・メンテナンスでお客様の商品をお預かりしている期間中、ご希望のお客様に修理代替機を有償にてお貸し出しするサービスです。修理期間中、仕事や作業でBepopをご利用になりたいお客様におすすめです。

●詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_rental.html



見積レス修理

お客様の修理品をお預かりするにあたり、よりスピーディーにお客様の修理対応を行う為に「見積レス修理」のご承諾をお願いしております。「見積レス修理」は、お客様のご承諾の下、修理内容が「基準修理金額」以下の場合に、見積提示をせず直ぐに修理対応を行うサービスです。

●詳しくは下記URLよりホームページをご参照ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/op/repair_estimate.html



【保証書】

本書は、ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、本書記載内容で無償修理をお約束するものです。弊社では、製造番号によりお客様の商品を管理しております。下記URLまたはQRコードより「お客様登録」をお願いいたします。

●スマートフォンから登録



●インターネットにて登録

https://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/

お買い上げ商品のレシート・請求書などご購入店・ご購入日がわかる書類は、取扱説明書・保証書と一緒に大切に保管してください。

【保証規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償で修理をさせていただきます。なお、中古品や個人売買、オークションで購入いただいた商品は対象外となります。
 - 無償修理は、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス(株)またはマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。(弊社ホームページをご参照ください)
- 保証期間内でも次のような場合には有償となります。
 - ご使用上の誤りおよび改造や不当な修理による故障および損傷
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
 - 火災・地震・風水害・落雷その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電圧(電圧・周波数)などの不可抗力による故障および損傷
 - 本保証書のご提示がない場合(コピー可)
 - 本保証書にご購入日、お客様名、ご購入店の記入のない、もしくはレシート・請求書などご購入店、ご購入日がわかる書類をご用意できない場合。また、保証書・書類の字句を書き換えられた場合
 - 消耗品、付属品などの交換や指定の手入を怠ったことに起因する故障および損傷
 - 弊社が指定している消耗品およびオプション品以外の使用に起因して生じた本体の故障および損傷
 - 本商品本体を利用するために必要な消耗品(使用することでその機能を失う、あるいは消費されてなくなってしまう物品)は、保証対象外とします。(プラテン・サーマルヘッド・カッタユニット等が含まれます)
 - 故障の原因が、本商品以外に起因する場合
 - 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障
- お客様のご負担となる費用
 - 修理の際のお預かり、ご返却に伴う送料はお客様のご負担となります。(代替機貸出サービスご利用時を除く)
 - 本商品に異常がない状態での、点検に伴う費用はお客様のご負担となります。
- その他
 - 本商品の故障などに伴う2次的損害に対する保証はいたしません。
 - 修理の際に取り外した部品の所有権は、マックス(株)に帰属します。
 - 本商品の動作に影響のない外観上の不良(経年劣化や日焼けによる変色・退色を含むがこれに限りません)については保証および修理の対象外とします。
 - 保証および修理の対応に際して、環境保全等の観点から、品質・性能を確認した再生部品を使用させていただく場合があります。
 - 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証期間 (ご購入日から)	1 年	ご購入日	2 0	年	月	日
品番/商品名	品 番	商品名	ご購入店			
	IL90217	CPM-100SH4				
	IL90216	CPM-100H6				
	IL90215	PM-100W2	電話番号 () -			

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

東京都中央区日本橋箱崎町6-6 TEL: 03-3669-8108

ホームページアドレス: <https://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル: 0120-510-200 (土日、祝日、当社指定休日を除く)

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容はサービス向上のため録音させていただいております。